

取扱説明書

マルチサポートツール

MST3000



⚠ 警告

製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用ください。
この説明書は、いつでも使用できるように大切に保管してください。

BANZAI

まえがき

この度は、バンザイの『MST3000 マルチサポートツール』をお買上げ頂きまして、誠に有り難うございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用ください。取扱説明書の中の注意事項・使用方法等を良く読んでご使用いただかないと、十分能力を発揮できないばかりか、自動車の損壊や人身事故につながりかねませんので、十分理解して頂き、正しくご使用ください。

本製品、本書の内容は将来予告無しに変更することがありますのでご了承ください。

本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

お買上げの製品や取扱説明書の内容についてご質問がある場合、お買上げ頂きました販売会社までお問合せください。

も く じ

	ページ
1、使用目的	1
2、使用上の注意	1
3、セット内容と各部はたらき	2
3-1、MST3000 の内容	2
3-2、電源/スリープ状態/リセット方法	2
4、使用する前に	3
4-1、ユーザー登録/ユーザー登録情報の変更（通常の方法）	3
4-2、アップデート（通常の方法）	6
4-3、Wi-Fi を利用したユーザー登録/ユーザー登録情報の変更/アップデート	8
4-3-1、Wi-Fi 設定方法	8
4-3-2、Wi-Fi を利用したユーザー登録/ユーザー登録情報の変更	9
4-3-3、Wi-Fi を利用したアップデート	10
4-4、USB メモリーを利用したアップデート	11
4-5、バンザイホームページを利用したアップデート	12
5、画面説明/各種設定	13
5-1、トップ画面	13
5-2、設定画面	14
5-3、アプリー覧	15
5-3-1、音声ガイダンス音量設定	15
5-3-2、日付と時刻設定	16
5-4、オプションプリンター（有線/無線）接続切り替え方法	16
5-5、Wi-Fi 設定 / Wi-Fi プリンターの設定をする	17
5-5-1、Wi-Fi 設定方法	18
5-5-2、Wi-Fi プリンターの設定をする	19
5-6、オプションBluetooth プリンターを設定する	20
5-7、画面のスクリーンショット撮影と閲覧方法	20
5-7-1、画面のスクリーンショット撮影	20
5-7-2、画面のスクリーンショット閲覧方法	21
5-8、バックアップをとる	23
5-9、バックアップからデータを復元する	23
6、車両登録/編集/削除/車種手動入力	24
6-1-1、車両選択ショートカット機能	24
6-1-2、登録した車両情報の編集/削除/車種手動入力	26
6-1-3、車両の履歴情報の確認	27
6-1-4、車両の履歴情報の削除	28
7、操作方法（故障診断）	28
7-1、故障コードの読取/消去	29
7-1-1、故障コードの読取（全自己診断の流れ）	29
7-1-2、故障コードの消去	31
7-2、データモニタ（例：「エンジン」選択の流れ）	31
7-3、フリーズフレームデータ	32



7-4、カスタマイズ	33
7-5、作業サポート	34
7-6、アクティブテスト	34
7-7、レディネステスト	35
7-8、点検モード	36
7-8-1、HV 点検モード	36
7-8-1-1、HV 点検モードのカラー用紙の印刷	37
7-8-2、インジェクターチェックモード	39
7-8-3、DPF 差圧チェックモード	39
8、愛車の健康診断 plus	39
8-1、愛車の健康診断 Plus のカラー用紙の印刷	42
9、簡易診断	44
10、簡易印刷/データ保存/保存データの確認方法	45
10-1、簡易印刷（オプションプリンター）	45
10-2、データ保存	45
10-3、保存データ確認方法	46
10-4、データモニタのCSV出力	48
10-4-1、出力したCSVデータの確認	48
11、定期点検	51
12、故障かなと思ったら	51
12-1、診断時のトラブルシューティング	51
12-2、ユーザー登録/アップデートのトラブルシューティング	52
13、本体仕様	52
14、製品保証/アップデートの更新/修理ホットラインの更新	53
14-1、製品保証	53
14-2、アップデートの更新	53
14-3、修理ホットラインの更新	53
15、製品保証規定	54

1. 使用目的

本製品は、車両のコンピューターにアクセスし、故障箇所の特定などを行う為の機器です。

2. 使用上の注意

本製品を使って車両の診断を行う際に、使用者は必ずカーメーカー発行のサービスマニュアル（整備マニュアル）と最新の保守整備用公示資料も参照していただくようお願い致します。

 警告	取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
 注意	取扱を誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合。及び、物的損害の発生が想定される場合。

警告




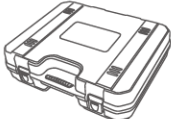
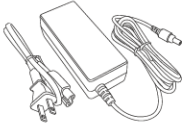



- 1) 取扱説明書をよく読み、よく理解してからご使用ください。
- 2) ぬれた手で、本製品にふれないでください。
本体およびケーブル等を水で濡らさないでください。
- 3) 衝撃等を与えないでください。
- 4) 点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- 5) 使用時に異音発生等、普段と異なる状態の時は診断機の使用を禁止し、お買上げの販売会社に連絡して、点検を受けてください。

注意

- 1) 自動車整備に熟知された人以外は使用しないでください。
- 2) 車両の修理に関してはカーメーカー発行のサービスマニュアルまたは他の故障修理の出版物を確認しながら行って下さい。
- 3) 機器の改造はしないでください。
- 4) 純正アダプター以外は使用しないでください。
- 5) 診断中はその場から離れないでください。
- 6) 診断機の脱着は必ずイグニッションOFFで行ってください。
- 7) 本製品を直射日光が当たる場所や高温になる場所または、炎天下の車内に放置しないでください。
- 8) 診断手順、結果判定は診断車両の『サービスマニュアル』に準じてください。
- 9) 本診断機を落下させたり、衝撃や過大な力を加えないでください。
衝撃や過大な力を加えると、機器の損傷につながる恐れがあります。




3. セット内容と各部はたらき

3-1、MST3000 セット内容

			
MST3000 本体	OBD-II ケーブル	シガーライターケーブル	キャリングケース
			
AC アダプター	USB ケーブル	液晶保護フィルム	ハンドルベルト <small>※本機をハンドルに吊下げる際に使用します。</small>

※クイックスタートガイドと車両修理ホットラインも合わせて同梱しております。

3-2、電源/スリープ状態/リセット方法

<p>電源の入れ方</p> <p>車両に接続し、電源ボタンを1回押してMST3000を起動します。</p>	<p>1回押す</p> 
<p>電源の切り方</p> <p>電源ボタンを長押し、「電源を切る」を選択します。</p>	<p>長押し</p> 
<p>スリープ状態にするには</p> <p>電源ボタンを1回押すとスリープ状態となり、もう1回押すと画面が立ち上がります。 (フル充電で3時間程度スリープします)</p>	<p>1回押す</p> 
<p>リセット方法</p> <p>フリーズなどの異常が発生した場合は本体上部のリセットボタンを押して下さい。</p>	

※本体表面の電源ボタンを20秒長押しした場合、強制的にリセットされます。

→出荷状態に戻ってしまうため、注意してください。

出荷状態に戻ると登録情報も削除されます。復元出来ませんのでご注意ください。


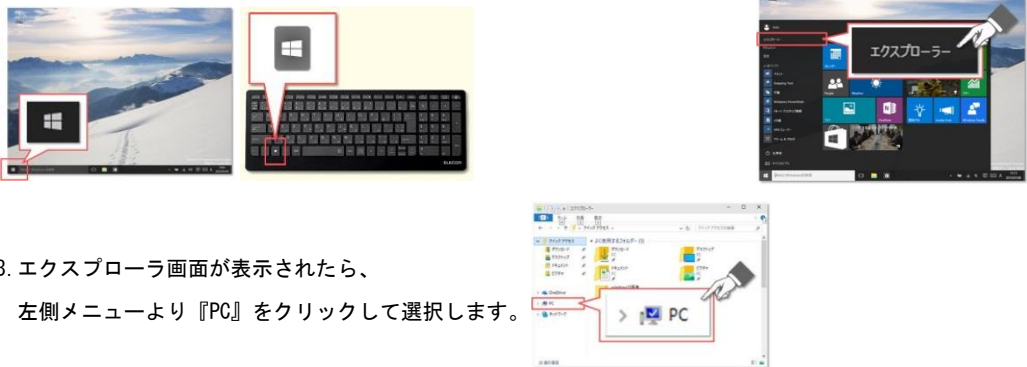
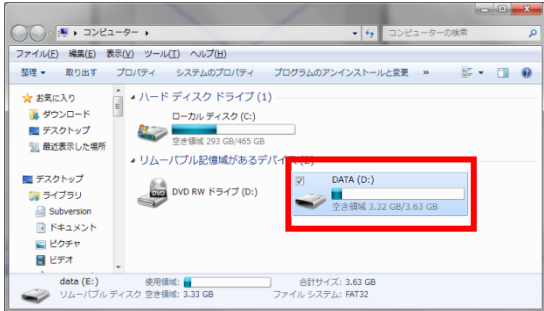
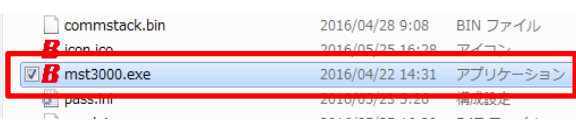
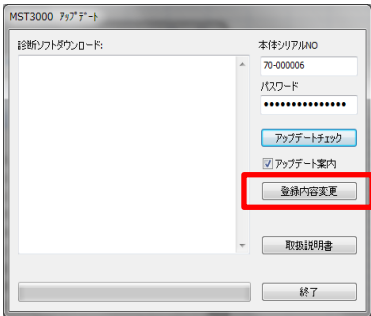
4. 使用する前に



4-1、ユーザー登録/ユーザー登録情報の変更（通常の方法）

商品に付属しているクイックスタートガイド（A3 両面）も合わせて確認して下さい。
ユーザー登録情報の変更は再度「ユーザー登録」を行なって下さい。登録情報の変更は弊社では行なえませんのでお客様自身で変更をお願い致します。

<p>①</p>	<p>付属のACアダプターをMST3000の電源ジャックに接続し、MST3000とパソコンをUSBケーブルにて接続します</p>	 <p>The diagram shows the AC adapter being plugged into the power jack of the MST3000 device. Below it, a photograph shows the MST3000 device connected to a PC via a USB cable.</p>
<p>②</p>	<p>電源スイッチを押します。 下記の画面が出るまで待機します。</p>	 <p>The top image shows the MST3000 device with a red arrow pointing to the power button. The bottom image is a screenshot of the main menu with the 'UPDATE' button highlighted by a red box.</p>
<p>③</p>	<p>「UPDATE」を選択します。</p>	 <p>The screenshot shows the main menu with the 'UPDATE' button highlighted by a red box.</p>
<p>④</p>	<p>「パソコン接続」を選択します。 画面が接続中になりましたら、接続しているパソコンの作業を行います。</p>	 <p>The screenshot shows the update selection screen with the 'パソコン接続' (PC Connection) option highlighted by a red box.</p>

パソコンでの作業

<p>⑤</p>	<p>デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックします。 ※Windows 7/8 の場合は「コンピューター」や「コンピュータ」になります。</p>	
<p>Windows10 ご使用のお客様のコンピューター（PC）の開き方</p>		
<p>1. 画面左下の、Windows マークをクリックします。 ※キーボードの「Windows キー」でも表示出来ます</p> <p>2. メニューを開いたら、「エクスプローラ」をクリックして開きます。</p> <p>3. エクスプローラ画面が表示されたら、左側メニューより『PC』をクリックして選択します。</p> 		
<p>⑥</p>	<p>「DATA」を選択します。</p>	
<p>⑦</p>	<p>「mst3000.exe (アプリケーション)」を選択します。</p>	
<p>⑧</p>	<p>「登録内容変更」を選択します。</p>	
<p>「プライバシー・ポリシー（個人情報保護方針）」ページが表示されます。記載内容をすべて確認頂き、同意頂ける場合は同意ボタンをクリックして下さい。 （同意頂けない場合はユーザー登録が行えない為、MST3000 をご使用頂けません）</p>		


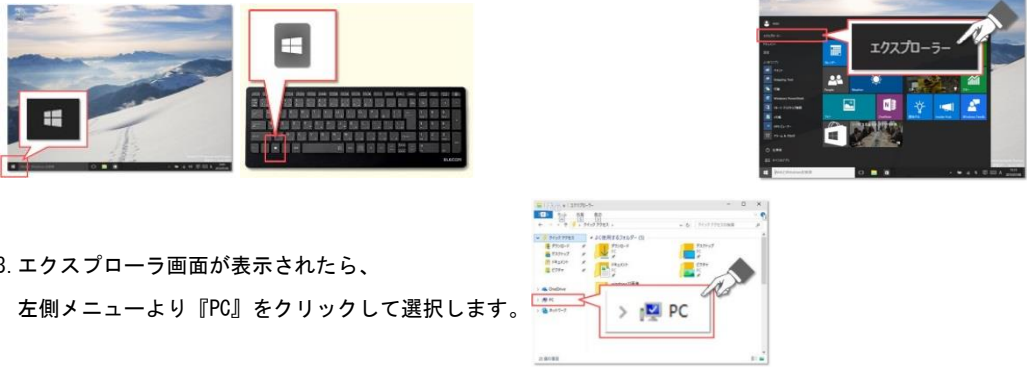
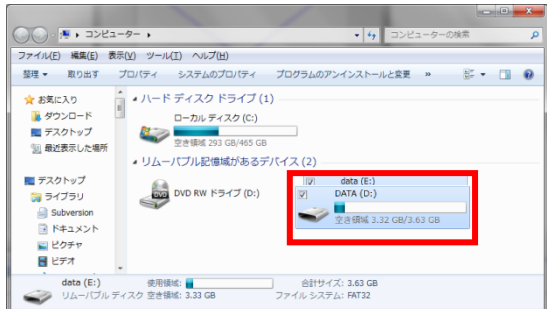
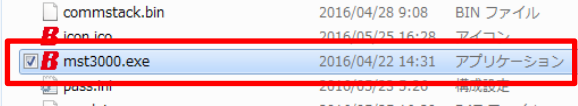


<p>⑨</p>	<p>「ユーザー登録」画面が表示にて、各入力欄にお客様の情報を入力し、[送信] ボタンを選択します。</p> <p>※この画面が出ない場合は「アップデートチェック」を押してから再度、登録内容変更ボタンを押して下さい。</p> <p>※「アップデートチェック」を押してから、再度「登録内容変更ボタン」を押しても進まない場合はバンザイホームページよりユーザー登録を行うか、無線LAN環境があるお客様は本書裏面のWi-Fiを使ったユーザー登録を行って下さい。</p> <p>※すべての項目にて空欄がないように入力して下さい。</p> <p>住所に関しましても3列すべて埋めてください。</p> <p>1列でも埋まっていない場合は「送信」を押してもエラー画面が表示されます。</p>	
<p>⑩</p>	<p>送信が完了しましたら登録したメールアドレスのメールをチェックして下さい。</p> <p>「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。</p> <p>メールを開いて、内容にあるリンクをクリックしてください。</p>	<p>登録認証確認</p> <p>下記リンクをクリックすると認証が完了します。</p> <p>http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey=337</p>
<p>⑪</p>	<p>メールが届かない場合は「迷惑メール」の欄に移動されていないか確認してください。</p> <p>クリックするとお使いのブラウザで「認証完了」ページが表示されます。</p>	

4-2、アップデート（通常の方法）

商品に付属しているクイックスタートガイド（A3 両面）も合わせて確認して下さい。

<p>①</p>	<p>付属のACアダプターをMST3000の電源ジャックに接続し、MST3000とパソコンをUSBケーブルにて接続します</p>	 <p>The diagram shows the AC adapter being plugged into the power jack of the MST3000 device. Below it, a photograph shows the MST3000 device connected to a PC via a USB cable.</p>
<p>②</p>	<p>電源スイッチを押します。 下記の画面が出るまで待機します。</p>	 <p>A photograph of the MST3000 device with a red arrow pointing to the power button. To the right is a screenshot of the main menu with the 'UPDATE' icon highlighted by a red box.</p>
<p>③</p>	<p>「UPDATE」を選択します。</p>	 <p>A screenshot of the main menu with the 'UPDATE' icon highlighted by a red box.</p>
<p>④</p>	<p>「パソコン接続」を選択します。 画面が接続中になりましたら、接続しているパソコンの作業を行います。</p>	 <p>A screenshot of the 'MST3000 アップデート' screen. The 'パソコン接続' option is highlighted by a red box. The screen also shows a serial number and a password field.</p>

パソコンでの作業

<p>⑤</p>	<p>デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックします。 ※Windows 7/8 の場合は「コンピューター」や「コンピュータ」になります。</p>	
<p>Windows10 ご使用のお客様のコンピューター (PC) の開き方</p>		
<p>1. 画面左下の、Windows マークをクリックします。 ※キーボードの「Windows キー」でも表示出来ます</p> <p>2. メニューを開いたら、「エクスプローラ」をクリックして開きます。</p> <p>3. エクスプローラ画面が表示されたら、左側メニューより『PC』をクリックして選択します。</p> 		
<p>⑥</p>	<p>「DATA」を選択します。</p>	
<p>⑦</p>	<p>「mst3000.exe (アプリケーション)」を選択します。</p>	
<p>⑧</p>	<p>「アップデートチェック」を選択します。</p>	
<p>⑨</p>	<p>「アップデート完了」のメッセージが表示されましたら、アップデートが完了したことになります。プログラムを終了して、パソコンとの接続を解除して下さい。 ※「アップデートチェック」を押しても進まない場合はバンザイホームページよりアップデートを行うか、無線LAN環境があるお客様はWi-Fiを使ったアップデートを行って下さい。</p>	

4-3、Wi-Fi を利用したユーザー登録/ユーザー登録情報の変更/アップデート
 4-3-1、Wi-Fi 設定方法



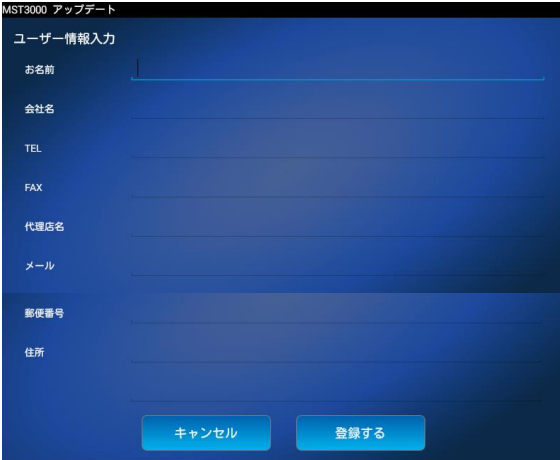
<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; text-align: center;"> <p>Wi-Fiに接続してユーザー登録を行います</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>準備するもの</p> <p>ACアダプター + MST3000 本体 + Wi-Fi ルーター + インターネット</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>パスワードの確認</p> <p>1: ネットワーク名 (SSID) 2: パスワード (セキュリティキー)</p> </div> </div> <p style="font-size: small;">ご利用の無線ネットワークに接続して登録します。 事前にご利用の無線ネットワーク(SSID)のパスワード(セキュリティキー、暗号化キー、KEYなど)をご確認ください。 ネットワークに接続する際に必要になります。 パスワードはルーター本体のラベルなどに記載されております。 記載がない機種の場合はご利用のルーターの取扱説明書を参考に確認ください。</p> </div>	
①	<p>付属の AC アダプターを MST3000 の電源ジャックに接続します。</p>
②	<p>電源ボタンを押して MST3000 を起動します。</p>
③	<p>初期画面から「設定」を選択してください。</p>
④	<p>「Wi-Fi 印刷設定」を選択します。</p>
⑤	<p>「Wi-Fi 設定」を選択します。</p>
⑥	<p>画面上部の Wi-Fi が ON になっている事を確認して、ご利用のネットワーク名 (例 : BANZAI-1) をタップします。</p>



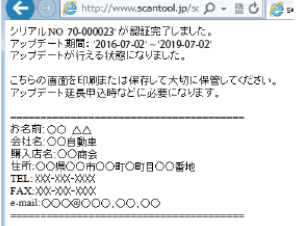
<p>⑦</p>	<p>パスワード欄を選択して、ネットワークのパスワードを入力し「接続」を選択します。</p>	
<p>⑧</p>	<p>「接続済み」に表示が切り替われば完了です。「戻る」ボタンで初期画面に戻ります。</p>	

4-3-2、Wi-Fi を利用したユーザー登録/ユーザー登録情報の変更

商品に付属しているクイックスタートガイド（A3 両面）も合わせて確認して下さい。

「4-3-1、Wi-Fi 設定方法」にて Wi-Fi の設定を行って下さい。





<p>「4-3-1、Wi-Fi 設定方法」にて Wi-Fi の設定を行って下さい。</p>		
<p>①</p>	<p>初期画面の「UPDATE」を選択します。</p>	
<p>②</p>	<p>「ユーザー登録」を選択します。</p>	
<p>③</p>	<p>お客様の情報を全て入力してください。</p>	

④	登録が完了するとメッセージが表示します。「OK」を選択してください。	
⑤	登録されたメールアドレスのメールを確認します。登録受付メールの本文にあるリンクをクリックしてください。	
⑥	リンクをクリックするとご使用のブラウザで認証完了のメッセージが表示されます。	

4-3-3、Wi-Fi を利用したアップデート

商品に付属しているクイックスタートガイド（A3 両面）も合わせて確認して下さい。

「4-3-1、Wi-Fi 設定方法」にて Wi-Fi の設定を行って下さい。

「4-3-1、Wi-Fi 設定方法」にて Wi-Fi の設定を行って下さい。		
①	初期画面の「UPDATE」を選択します。	
②	「Wi-Fi 接続」をタップします。	
③	アップデートが開始され、ソフトウェアが本体にインストールされます。	
④	アップデートが完了すると「更新が完了しました」と表示されます。「OK」をタップします	

4-4、USBメモリーを利用したアップデート

バンザイホームページよりアップデートファイルをダウンロードし、USBメモリーに保存します。
MST3000本体にUSBメモリーを挿入し、アップデートを行う事が出来ます。

[USBメモリーへのファイルダウンロード]

①パソコンのWebブラウザで次のアドレスを表示します。⇒<http://scantool.jp/>

②表示されたページから「日本語」を選択します。

③本体シリアルNoとパスワードを入力し、「圧縮ファイル」を選択します。

※本体シリアルNoとパスワードはMST3000トップ画面から「UPDATE」を選択するかMST3000内に保存されている「pass」ファイルを参照下さい。

④「ダウンロード」ボタンを押しアップデートファイル（拡張子：zip）をダウンロードします。

※ファイル名は「(シリアルNo).zip」となります。

デスクトップなど分かりやすい場所に一度保存してください。

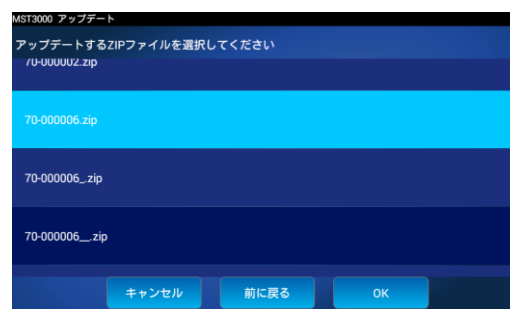
⑤ダウンロードした更新用ファイルをUSBメモリーに保存します。

⑥USBメモリーをMST3000に挿入します。

⑦初期画面の「USB接続」アイコンを押します。



⑧画面にUSBメモリーの内容が一覧で表示されます。
リストから、更新用ファイルを選択します。



⑨「OK」ボタンを選択します。

⑩アップデート画面を表示し、
自動で更新が開始されます。



⑪ダウンロードの進捗がバーに反映され、
最後まで進めば更新完了となります。

⑫更新完了後に表示されるダイアログで
「OK」を選択すると、初期画面に戻ります。



4-5、バンザイホームページを利用したアップデート

ユーザー登録/ユーザー登録変更/アップデートがセキュリティソフトによって行えない場合や、Wi-Fi環境がない場合にバンザイホームページよりユーザー登録/ユーザー登録変更/アップデートが行うことができます。

<p>①</p>	<p>バンザイのホームページを開きます。 http://www.banzai.co.jp/</p> <p>右側にある 「スキャンツール (MST3000/2000) マルチサポートツール」を選択します。</p>	
<p>②</p>	<p>ユーザー登録/ユーザー登録変更/アップデートの項目が表示されますので、左側のPDF(説明書)</p> <ul style="list-style-type: none">  MST3000 ユーザー登録方法  MST3000 アップデート方法  MST3000 ユーザー登録の変更方法 <p>を確認頂きながら、ユーザー登録/ユーザー登録変更/アップデートを行って下さい。</p>	

5. 画面説明/各種設定

ユーザー登録、アップデートが完了した後、各設定を行う必要があります。

5-1、トップ画面

ホームアプリ起動時に一番最初に表示する画面です。



機能	内容
1. 新規車両	新しく、車両の登録を行います。 「6-1-1、車両選択ショートカット機能」参照。
2. 車両情報検索	登録した車両の検索を行います。(例) 川崎 300 い XX-XX 4桁の XX-XX の数値で、登録済みの車両を検索します。(部分一致)
3. 車両情報一覧	登録した車両の一覧を表示します。車両選択で選択状態になります。
4. 車両情報編集	登録した車両情報の編集を行います。 「6-1-2、登録した車両情報の編集/削除」参照。
5. 車両情報削除	登録した車両の削除を行います。 「6-1-2、登録した車両情報の編集/削除」参照。
6. 履歴情報一覧	保存した診断データの再表示を行います。 「6-1-3、車両の履歴情報の確認」参照。
7. 車種再選択	「故障診断アプリ」・「愛車の健康診断アプリ plus」で保存した 車種情報の自動選択を削除します。
8. 故障診断	故障診断アプリを起動します。
9. 愛車の健康診断 plus	愛車の健康診断 plus アプリを起動します。
10. 簡易診断	簡易診断アプリを起動します。
11. ソフトウェア更新	ソフトウェア更新アプリを起動します。
12. 設定	各種機能の設定を行います。
13. 履歴削除	選択した履歴情報を削除します。

5-2、設定画面

各種機能の設定を行う画面です。

The screenshot shows a settings menu with a dark blue background. On the left, there is a vertical list of menu items, each with a right-pointing arrow: '自社情報設定' (Company Information Setting), 'アプリ一覧' (App List), '簡易印刷 接続切り替え' (Simple Printing Connection Switching), 'Wi-Fi印刷設定' (Wi-Fi Printing Setting), 'Bluetooth設定' (Bluetooth Setting), and 'スクリーンショット機能' (Screenshot Function). The '自社情報設定' item is highlighted in a lighter blue. To the right of this list are several input fields with labels: '会社名' (Company Name), 'TEL', 'FAX', '郵便番号' (Postal Code), '住所' (Address), and 'メール' (Email). At the bottom of the screen, there are two buttons: '戻る' (Back) on the left and '確定' (Confirm) on the right.

機能	内容
1. 自社情報設定	自社情報を登録します。
2. アプリ一覧	搭載しているアプリを表示し、実行します。 「5-3、アプリ一覧」を表示します。
3. 簡易印刷 接続切り替え	簡易印刷時の接続方式を切り替えます。 「5-4、オプションプリンター接続切り替え方法」を表示します。
4. Wi-Fi 印刷設定	Wi-Fi・プリンターの設定を行います。 「5-5-2、Wi-Fi プリンターの設定をする」を表示します。
5. Bluetooth 設定	簡易印刷で使用するプリンターのBluetooth設定を行います。 「5-6、Bluetooth プリンターを設定する」を表示します。
6. スクリーンショット 設定	画面のスクリーンショットを撮影します。 「5-7、画面のスクリーンショット撮影」を表示します。
7. バックアップ /インポート	<ul style="list-style-type: none"> ・データのバックアップを取ります。 「5-9、バックアップを取る」参照。 ・バックアップしたデータをインポートします。 「5-10、バックアップからデータを復元する」参照。
8. ライセンス情報	ライセンス情報を表示します。

5-3、アプリ一覧

搭載しているアプリを表示/実行します。「設定」以外のアプリは使用しません。



アプリ一覧

5-3-1、音声ガイダンス音量設定

①	アプリ一覧から「設定」を選択します。	
②	「音」を選択します。	
③	「音量」を選択します。	
④	音量を調整します。調整後「OK」を選択します	

5-3-2、日付と時刻設定

①	アプリ一覧から「設定」を選択します。	
②	「日付と時刻」を選択します。	
③	<p>Wi-Fi に接続する場合は自動設定にて設定します。 Wi-Fi に接続しない場合は「日付と時刻の自動設定」のチェックを外します。 ※「日付と時刻の自動設定」のチェックを外すと、「日付設定」「時刻設定」選択出来るようになります。</p>	
④	「日付設定」を選択し、日付を選択します。選択後、「完了」を選択します。	
⑤	「時刻設定」を選択し、時刻を選択します。選択後、「時刻」を選択します。	

5-4、オプションプリンター（有線/無線）接続切り替え方法

感熱紙に診断結果等を印字するオプションプリンターの接続設定を行います。

MST3000 オプションの Bluetooth プリンターを接続する際は「Bluetooth」を選択します。



MST2000/TPM1000 シリーズのオプションプリンター（有線）を接続する際は「シリアルポート」を選択します。

- ① 「1: 接続切り替え」のスイッチで、切り替えたい接続にします。
- ② 「2: 確定」ボタンを押して下さい。
- ③ “保存に成功しました”と表示されれば、接続切り替えの完了です。



5-5、Wi-Fi 設定 / Wi-Fi プリンターの設定をする


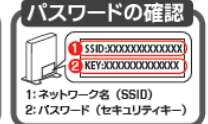
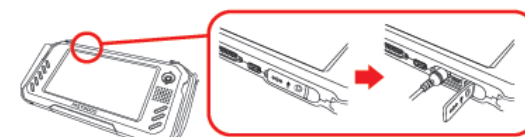




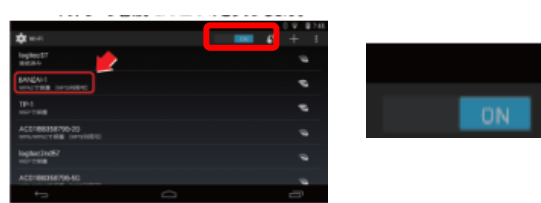
Wi-Fi とプリンターの設定を行います。



5-5-1、Wi-Fi 設定方法

インターネットへ接続する際やWi-Fi ダイレクト機能を使用する場合に必要です。

①[インターネットに接続する場合]

<div style="text-align: center;"> Wi-Fiに接続してユーザー登録を行います <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 準備するもの  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> パスワードの確認  </div> </div> <p style="font-size: small;">ご利用の無線ネットワークに接続して登録します。 事前にご利用の無線ネットワーク(SSID)のパスワード(セキュリティキー、暗号化キー、KEYなど)をご確認ください。 ネットワークに接続する場合には必要になります。 パスワードはルーター本体のラベルなどに記載されております。 記載がない機種の場合はご利用のルーターの取扱説明書を参考に確認ください。</p> </div>	
①	<p>付属のACアダプターをMST3000の電源ジャックに接続します。</p> 
②	<p>電源ボタンを押してMST3000を起動します。</p> 
③	<p>初期画面から「設定」を選択してください。</p> 
④	<p>「Wi-Fi印刷設定」を選択します。</p> 
⑤	<p>「Wi-Fi設定」を選択します。</p> 
⑥	<p>画面上部のWi-FiがONになっている事を確認して、ご利用のネットワーク名(例: BANZAI-1)をタップします。</p> 

5-5-2、Wi-Fi プリンターの設定をする


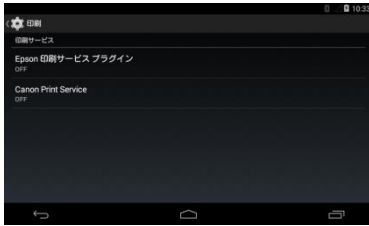

①[Wi-Fi ダイレクト機能を使用する場合(愛車の健康診断 plus の結果を A4 プリント)]



Wi-Fi Directとは、無線LANのアクセスポイント機能を内蔵している為、Wi-Fi 経由で直接印字が可能です。MST3000ではWi-Fi ダイレクト機能付きの「エプソン製/キヤノン製」に対応しています。Wi-Fi Directを使用したエプソン/キヤノンへ接続方法はプリンターの取扱説明書を参照下さい。
※新しくプリンターをご用意される際は「Wi-Fi ダイレクト機能」を搭載したプリンターをご用意下さい。


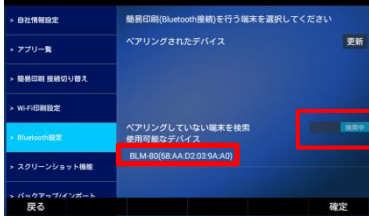

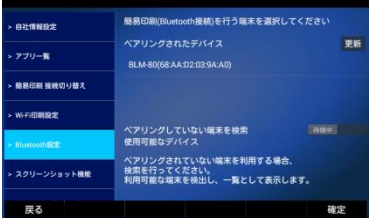
②[印刷設定 (Wi-Fi 経由にて愛車の健康診断 plus の結果を A4 プリント)]

Wi-Fi 機能付きのエプソン製/キヤノン製のプリンターをお持ちでネットワークに接続されている場合に、印刷設定にてプリンターと接続し、Wi-Fi 経由で A4 にて印刷します。

①	「Wi-Fi 設定」を選択し、「印刷設定」を選択します。	
②	エプソン製プリンターの場合は「Epson 印刷サービスプラグイン」 キヤノン製プリンターの場合は「Canon Print Service」	
③	右上のスライドを「ON」にします。	
④	「Epson 印刷サービスプラグイン」「Canon Print Service」を利用するか確認されますので「OK」を選択します。	
⑤	プリンターが表示されたら選択します。 ※表示されない場合はプリンターがネットワークに接続されていない、またはプリンターが対応していない場合があります。	

5-6、オプションBluetoothプリンターを設定する



故障コードやデータモニタ、愛車の健康診断 plus や簡易診断を Bluetooth プリンターにて印刷する場合の設定方法です。

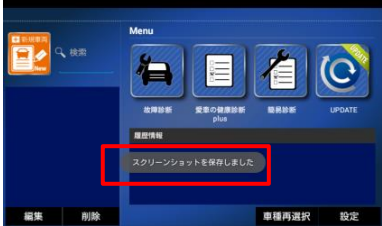
①	オプション「Bluetooth プリンター」の電源を入れ、MST3000 の近くに置きます。	
②	<p>[設定]→[Bluetooth 設定]を選択し、「待機中」をスライドし「検索中」にします。</p> <p>画面下に「BLM-80」が表示されましたら選択して下さい。</p>	
③	「ペア設定する」を選択します。	
④	<p>「更新」をタップして「ペアリングされたデバイス」に「BLM-80」が表示されている事を確認して下さい。</p> <p>表示されていれば完了です。</p>	

5-7、画面のスクリーンショット撮影と閲覧方法

スクリーンショットを ON に切替えることで、表示画面を撮影する事が出来ます。





5-7-1、画面のスクリーンショット撮影


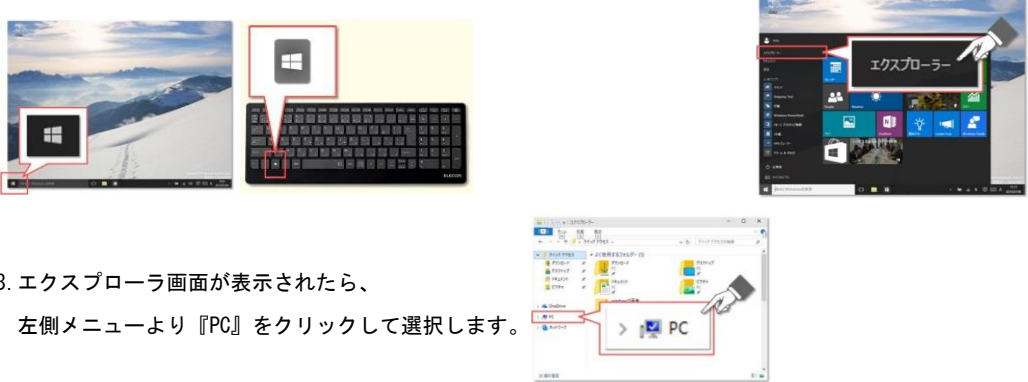
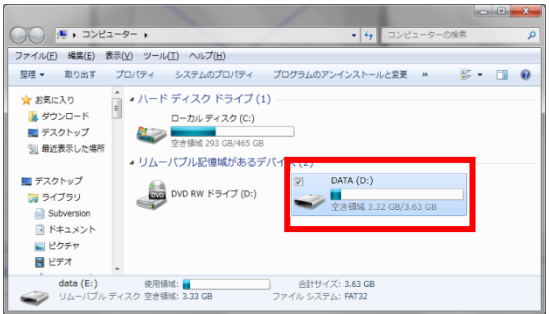
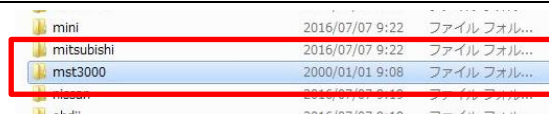
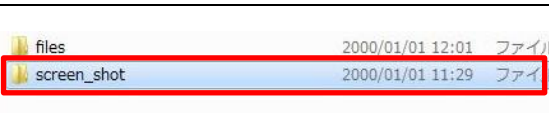
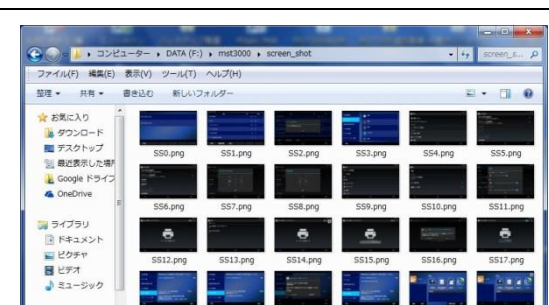
①	<p>[設定]→[スクリーンショット機能]を選択し、「OFF」をスライドさせて「ON」にします。</p> <p>右上に「カメラアイコン」が出現します。</p>	
②	表示している画面を撮影したい場合、「カメラアイコン」を選択します。	

③	<p>「スクリーンショットを保存しました」と表示されましたら保存成功です。</p>	
---	---	--

5-7-2、画面のスクリーンショット閲覧方法

スクリーンショットした画面データを確認します。(パソコンと接続した場合、確認可能です。)

①	<p>付属のACアダプターをMST3000の電源ジャックに接続し、MST3000とパソコンをUSBケーブルにて接続します。</p>	
②	<p>電源スイッチを押します。 下記の画面が出るまで待機します。</p>	
③	<p>「UPDATE」を選択します。</p>	
④	<p>「パソコン接続」を選択します。 画面が接続中になりましたら、接続しているパソコンの作業を行います。</p>	

⑤	<p>デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックします。 ※Windows 7/8 の場合は「コンピューター」や「コンピュータ」になります。</p>	
<p>Windows10 ご使用のお客様のコンピューター (PC) の開き方</p>		
<p>1. 画面左下の、Windows マークをクリックします。 ※キーボードの「Windows キー」でも表示出来ます</p> <p>2. メニューを開いたら、「エクスプローラ」をクリックして開きます。</p> <p>3. エクスプローラ画面が表示されたら、左側メニューより『PC』をクリックして選択します。</p> 		
⑥	<p>「DATA」を選択します。</p>	
⑦	<p>「mst3000」フォルダーを選択します。</p>	
⑧	<p>「screen_shot」フォルダーを選択します。</p>	
⑨	<p>保存したスクリーンショットを確認する事が出来ます。</p>	

5-8、バックアップを取る

車両情報や診断履歴などのバックアップデータを作成する事が出来ます。

バックアップデータは MST3000 内の「MST3000 フォルダー」→「backup」フォルダーに保存されます。

「バックアップ」を選択します。

“バックアップ完了しました”と表示されます。



5-9、バックアップからデータを復元する

バックアップを行ったデータをインポートし、データの復元を行います。

<p>①</p>	<p>[インポート]を選択します。</p>	
<p>②</p>	<p>復元を行なうデータを選択します。</p>	
<p>③</p>	<p>右図の画面が表示されましたら「OK」を押します。</p>	

⚠ 注意

定期的にバックアップを行い、作成したデータをパソコンに保存するようお願いいたします。

MST3000 が故障した場合、外部にバックアップデータがない場合、復元をすることができません。

6. 車両登録/編集/削除/車種手動入力

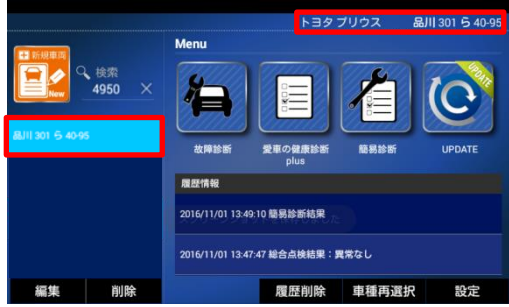
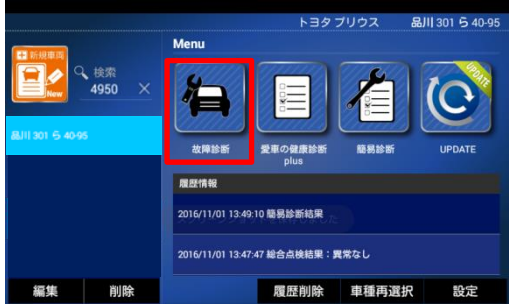


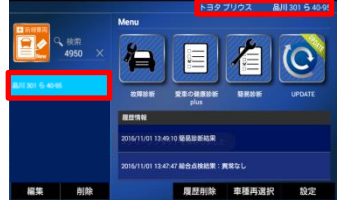

6-1-1、車両選択ショートカット機能

初回診断時に車両のナンバーを登録する事で、次回以降の車両選択が不要となります。

※車両登録では新品状態にて約 1,500 万台（目安）の登録が可能です。

（車両登録の情報のみ/履歴等を保存すると車両登録数は減少します）

<p>①</p>	<p>「新規車両」を選択します。</p>	
<p>②</p>	<p>車両のナンバーを入力していきます。</p>	
<p>③</p>	<p>カーメーカーと車種を選択します。</p>	
<p>入力時</p>	<p>充電がされている状態であれば MST3000 をケーブルから取り外して入力が可能です。 ※診断を行う際は OBD II ケーブルを接続して下さい。</p>	
<p>④</p>	<p>検索にて車両のナンバー「下4ケタ」を入力し、検索を行いません</p>	

⑤	<p>検索結果より車両を選択し、画面右上に車両が表示されているのを確認します。</p>	
⑥	<p>「故障診断」を選択し、車両情報を入力します</p> <p>例：「カーメーカー」⇒「車名」⇒「年式」⇒「装備品」</p>	
⑦	<p>各カーメーカーのメインメニューが表示されましたら登録完了です。</p>	
<p>以上で車両登録が完了です。次回以降はナンバー検索する事で 例：「カーメーカー」⇒「車名」⇒「年式」⇒「装備品」などの入力はありません。</p>		
⑧	<p>検索にて車両のナンバー「下4ケタ」を入力し、検索を行ないます</p>	
⑨	<p>検索結果より車両ナンバーを選択し、画面右上に車両が表示されているのを確認後、故障診断を選択。 (愛車の健康診断 plus/簡易診断も同様です)</p>	
⑩	<p>例：「カーメーカー」⇒「車名」⇒「年式」⇒「装備品」などの選択がなく、各カーメーカーのメインメニューが表示されましたら選択完了です。</p>	

6-1-2、登録した車両情報の編集/削除/車種手動入力 [編集]

- ① 検索にてナンバーを入力し、「1: 車両情報一覧」から編集したい車両を選択します。
- ② 車両が選択の状態（水色に反転）で、「3: 編集」を選択します。
- ③ 新規車両の入力画面に移行します。（変更した車両の履歴情報は残ります）

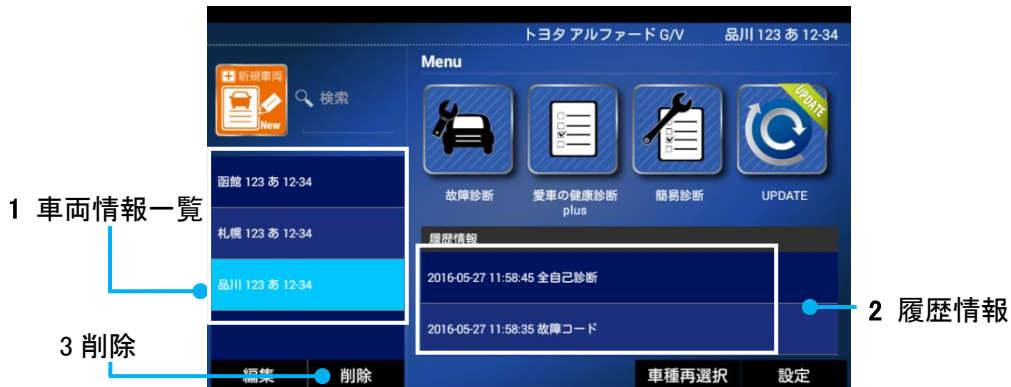


[削除]

登録した車両の削除を行います。

- ① 「1: 車両情報一覧」から削除したい車両を選択します。
- ② 車両が選択の状態（水色に反転）で、「3: 削除」のボタンを押します。
- ③ 「1: 車両情報一覧」から車両が削除されます。

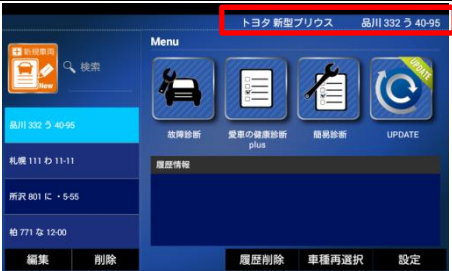
※削除を行った場合、その車両の「2: 履歴情報」も削除されます。



[車種手動入力]

メーカー選択後、車種一覧にない場合、お客様にて入力し登録をすることができます。

<p>① 「新規車両」を選択し、車両のナンバーを入力し、カーメーカーを選択後、「車種入力」を選択します。</p>	
<p>② この際、車種がない場合、「車種入力」を選択することでキーボードが出ますので入力し、「決定」を選択して下さい。</p>	

③	登録車両一覧にて車種が入力されていることを確認してください。	
---	--------------------------------	--

6-1-3、車両の履歴情報の確認

車両情報一覧で車両を選択することで、ホーム画面にて履歴情報を確認することができます。
 ※データ容量について(保存データのみで計算した場合)

データモニタで 50 項目を 10 分間保存した場合、13,000 件(目安)のデータを履歴情報として残すことが可能です。

- ① 「1: 車両情報一覧」から履歴情報を見たい車両を選択します。
- ② 「2: 履歴情報」から履歴データを選択します。(新しい履歴情報は上段に表示されます。)



③ 選択した履歴ファイルが開きます。

[表示例]



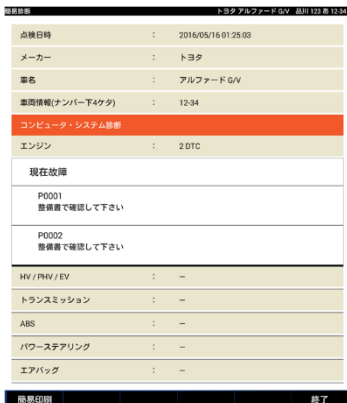
故障コード履歴画面



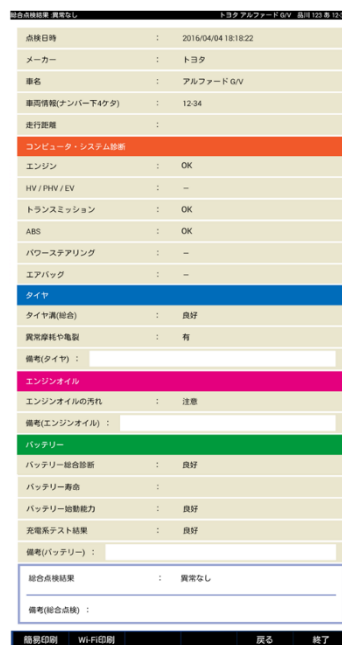
フリーズフレーム履歴画面



データモニタ履歴画面



簡易診断結果履歴画面



愛車の健康診断 plus

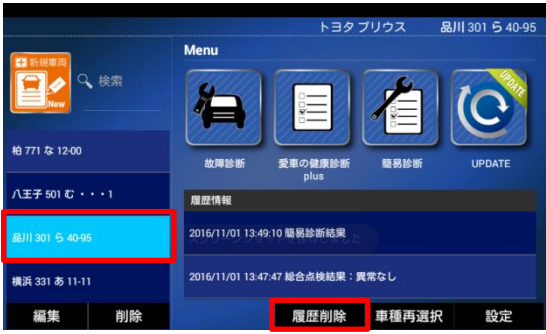


6-1-4、車両の履歴情報の削除

車両情報一覧で車両を選択し、ホーム画面にて履歴情報を削除することができます。

※削除した履歴情報は復元できませんのでご注意ください。


※1 車両に履歴情報は 20 件まで保存できます。21 件目以降は古いデータから削除されます。

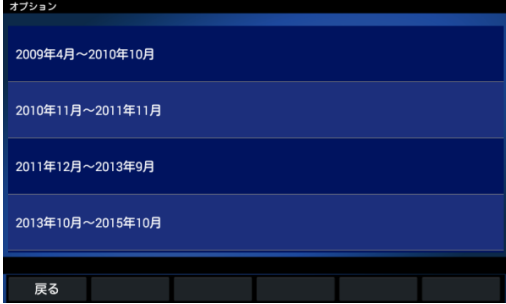

削除された履歴情報は復元できませんのでご注意ください。

<p>①</p>	<p>初期画面にて履歴情報を削除したい車両を選択し、「履歴情報削除」を押してください。</p>	
<p>②</p>	<p>選択しました車両の履歴情報一覧が表示されますので、削除したい項目に「チェック」をしてください。 「チェック」後、「削除」を押してください。</p>	
<p>③</p>	<p>「確認」のメッセージが表示されます。 よく読んでいただき、 実行する場合は「OK」 選び直す場合は「キャンセル」を選んでください。</p>	

7. 各種診断機能

車両登録を行わなくても毎回車両選択をすることで、各種診断機能を使用出来ます。

<p>①</p>	<p>初期画面にて「故障診断」を選択します。 (例：トヨタ プリウス)</p>	
----------	---	--

②	<p>車両の情報を順番に入力してください。</p> <p>「メーカー」⇒「地域選択」⇒「車名」⇒「年式」⇒「オプション有無(例：ミリ波レーダー)」</p> <p>※カーメーカーにより選択項目は異なります。</p>	
③	<p>「メインメニュー」が表示されます。</p> <p>メインメニューより各診断機能へ進みます。</p>	

メインメニューの説明

診断	<p>車両の故障診断を行います。</p> <p>「故障コードの読取り方法」「故障コードの消去方法」参照</p>
カスタマイズ	<p>車両の設定変更する場合に使用します。【例】シートベルト警告音</p> <p>※車両により設定できる項目は違います。</p>
作業サポート	<p>部品交換後等の初期化や学習を行ないます。</p> <p>【例】トヨタ：HV 車のエア抜き 日産：吸入空気量学習</p>
アクティブテスト	<p>アクチュエータを強制的に作動・停止させます。</p> <p>【例】パワーバランステスト、冷却ファン駆動</p> <p>※アクティブテストのアイコンが表示されない場合、「作業サポート」内にアクティブテスト機能が入っております。</p>
点検モード	<p>ハイブリッド車/ディーゼル車にて表示されます。</p> <p>対応していない場合には表示されません。</p>


7-1、故障コードの読取/消去

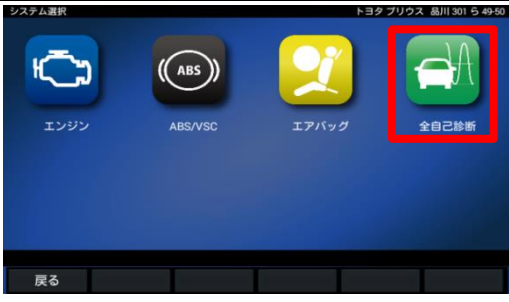

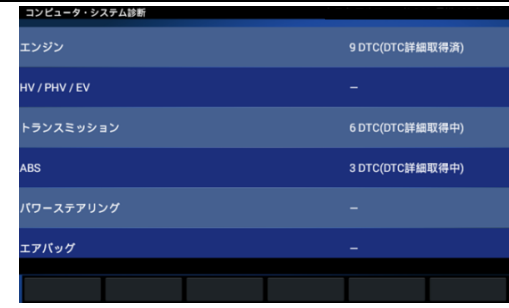



7-1-1、故障コードの読取（全自己診断の流れ）

故障コードを読み取り表示することができます。

※いすゞや三菱ふそうの車両ではOBDⅡコネクタから電源が来ていない車両があります。


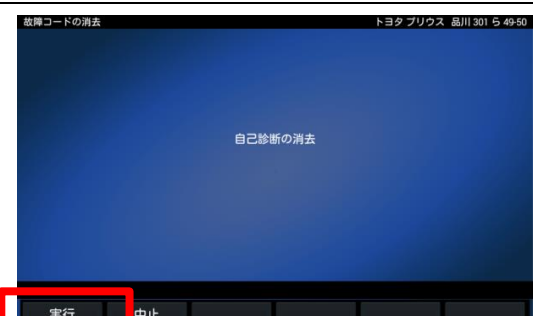
付属品のシガーケーブルを使用してから診断してください。

①	<p>メインメニューより「診断」を選択します。</p>	
---	-----------------------------	--

<p>②</p>	<p>診断したいシステムを選択します。 (診断項目によっては数分かかる場合があります)</p> <p>今回の説明では全てのシステムを確認する「全自己診断」を選択します。</p>	
<p>③</p>	<p>「診断結果」を選択します。</p>	
<p>④</p>	<p>車両に搭載されているコンピューターが表示されます。</p> <p>[-] 現在故障コードがありません。 [DTC] 現在故障コードがあります。 数字は故障コードの数を示しています。</p>	
<p>⑤</p>	<p>「故障コードの読取」を選択します。</p>	
<p>⑥</p>	<p>[現在故障]現在起きている故障を表示します。 [過去故障]過去に入った故障を表示します。 [仮コード]仮故障コードを表示します。 (本当に故障しているか確認中)</p> <p>今回は「現在故障」を選択します。</p>	
<p>⑦</p>	<p>故障コードが表示されます。更にコードをタップすると大きく表示されます。</p>	

7-1-2、故障コードの消去

診断結果の故障コードを消去します。

①	「全自己診断の消去」を選択します。	
②	<p>「実行」を選択して下さい。</p> <p>故障コードが消去されます。消去をしても故障コードが消えない場合は修理が完了していない、また学習等が行なわれていない可能性がある為、整備マニュアルを確認し、再度点検をして下さい。</p>	

※全自己診断後、各システム個別に消去が可能です。

例：エンジンのみ故障コードの消去を行なう場合

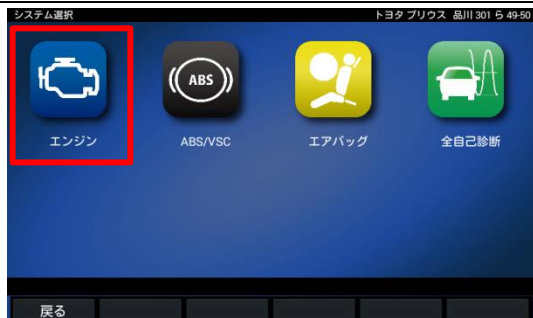

「全自己診断」→「診断結果」→

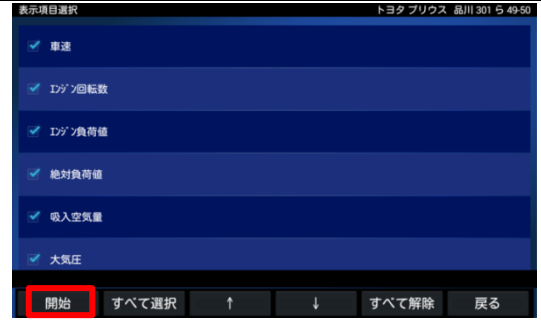


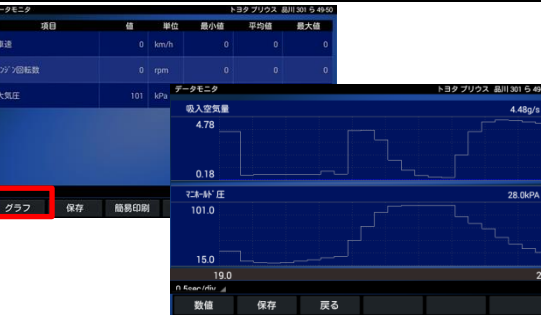
「エンジン」→「故障コードの消去」



7-2、データモニタ（例：「エンジン」選択の流れ）

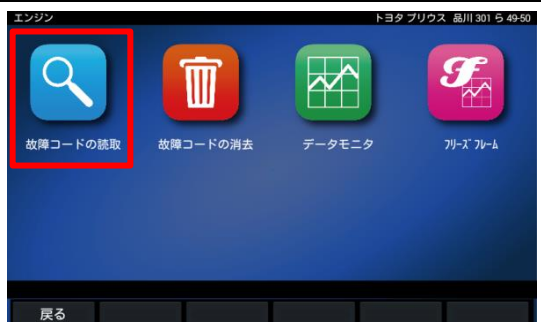
各機能の診断結果を数値やグラフとして表示することができます。

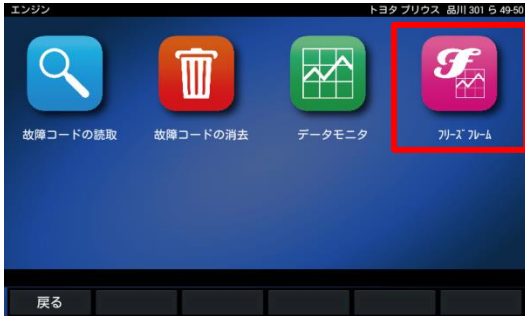
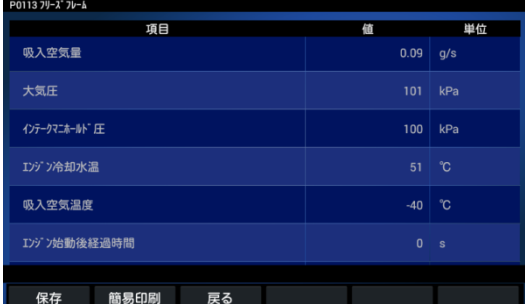
①	<p>システム選択画面でデータモニタを見たいシステムを選択してください。</p> <p>（例：エンジン）</p>	
②	「データモニタ」を選択してください。	

<p>③</p>	<p>すべてのデータモニタを表示する場合は「開始」を押します。</p> <p>データ項目を絞る場合は④に進んで下さい</p>	
<p>④</p>	<p>1. 「すべて解除」を選択してください。</p> <p>2. 表示したい項目のみ選択してください。 (チェックのある項目が選択している状態です)</p> <p>3. 選択後、「開始」を押下します。</p>	
<p>⑤</p>	<p>データモニタでは、最小値、最大値、平均値を確認できます。</p>	
<p>⑥</p>	<p>「グラフ」ボタンを押すことでデータモニタのグラフ表示が可能です。</p>	

7-3、フリーズフレームデータ


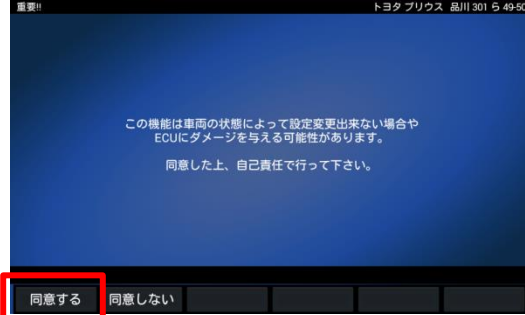
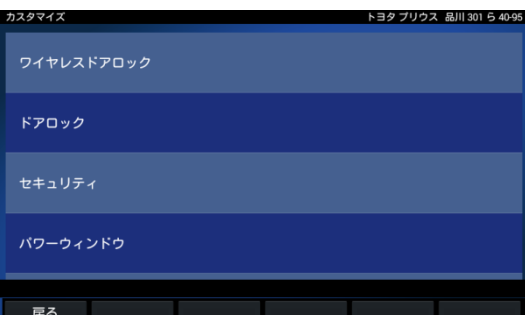
故障コードが入った瞬間のデータモニタを表示します。故障コードとフリーズフレームデータを記憶している場合に確認出来ます。故障コードによりフリーズフレームデータを記憶しない場合があります。

<p>①</p>	<p>システム選択画面でフリーズフレームデータを見たいシステムを選択してください。 (例：エンジン)</p>	
----------	--	--

②	「フリーズフレームデータ」を選択してください。	 <p>エンジン トヨタプリウス 品川 301 5 49:50</p> <p>故障コードの読取 故障コードの消去 データモニタ フリーズフレーム</p> <p>戻る</p>																					
③	故障コードを選択し、フリーズフレームデータを確認します。	 <p>P0113 フリーズフレーム</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吸入空気量</td> <td>0.09</td> <td>g/s</td> </tr> <tr> <td>大気圧</td> <td>101</td> <td>kPa</td> </tr> <tr> <td>インテークマニホ圧</td> <td>100</td> <td>kPa</td> </tr> <tr> <td>エンジン冷却水温</td> <td>51</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>吸入空気温度</td> <td>-40</td> <td>℃</td> </tr> <tr> <td>エンジン始動後経過時間</td> <td>0</td> <td>s</td> </tr> </tbody> </table> <p>保存 簡易印刷 戻る</p>	項目	値	単位	吸入空気量	0.09	g/s	大気圧	101	kPa	インテークマニホ圧	100	kPa	エンジン冷却水温	51	℃	吸入空気温度	-40	℃	エンジン始動後経過時間	0	s
項目	値	単位																					
吸入空気量	0.09	g/s																					
大気圧	101	kPa																					
インテークマニホ圧	100	kPa																					
エンジン冷却水温	51	℃																					
吸入空気温度	-40	℃																					
エンジン始動後経過時間	0	s																					


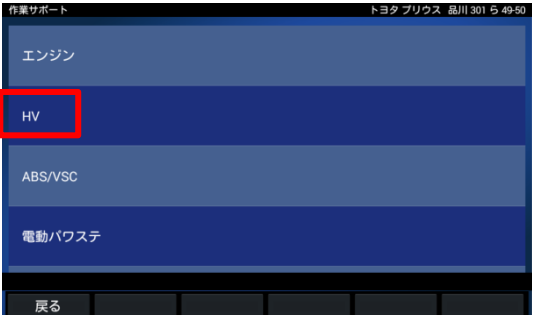

7-4、カスタマイズ

各車両のシステム設定を変更することができます。

①	メインメニュー画面で「カスタマイズ」を選択します。	 <p>トヨタ メインメニュー トヨタプリウス 品川 301 5 49:50</p> <p>診断 カスタマイズ 作業サポート アクティブテスト</p> <p>点検モード</p> <p>戻る グローバルOBDII 終了</p>
②	<p>作業を始める前にメッセージが表示されます。必ず読んでいただき内容を確認後、「同意する」を選択して下さい。</p> <p>同意頂けない場合はカスタマイズの機能をご使用出来ません。</p>	 <p>重要!! トヨタプリウス 品川 301 5 49:50</p> <p>この機能は車両の状態によって設定変更出来ない場合や ECUにダメージを与える可能性があります。 同意した上、自己責任で行って下さい。</p> <p>同意する 同意しない</p>
③	<p>カスタマイズしたい項目を選択し、操作に従ってください。(車両によって対応できている項目が異なっております)</p> <p>また項目の詳細に関しましては整備マニュアルを参照下さい。</p>	 <p>カスタマイズ トヨタプリウス 品川 301 5 49:50</p> <p>ワイヤレスドアロック</p> <p>ドアロック</p> <p>セキュリティ</p> <p>パワーウィンドウ</p> <p>戻る</p>

7-5、作業サポート



部品交換の際にセンサーの初期化や学習などを行ないます。(例：整備モード)

<p>①</p>	<p>メインメニュー画面で「作業サポート」を選択します。</p>	 <p>トヨタ メインメニュー トヨタプリウス 品川 301 5 49:50</p> <p>診断 カスタマイズ 作業サポート アクティブテスト</p> <p>点検モード</p> <p>戻る グローバルOBDII 終了</p>
<p>②</p>	<p>システムを選択します。</p> <p>今回は整備モードの為、「HV」を選択します。</p>	 <p>作業サポート トヨタプリウス 品川 301 5 49:50</p> <p>エンジン</p> <p>HV</p> <p>ABS/VSC</p> <p>電動パワステ</p> <p>戻る</p>
<p>③</p>	<p>実施したい作業サポートを選択し、操作に従ってください。(車両によって対応できている項目が異なります)</p> <p>また項目の詳細に関しましては整備マニュアルを参照下さい。</p>	 <p>HVサポート トヨタプリウス 品川 301 5 49:50</p> <p>電池制御データ初期化</p> <p>整備モード</p> <p>チェックモード移行</p> <p>戻る</p>

7-6、アクティブテスト

診断する車両のコンピューターにアクセスしアクチュエータを強制的に駆動させ、アクチュエータやコンピューター、センサーの不良かなど制御系等の不具合を確認します。【例：冷却ファン駆動】

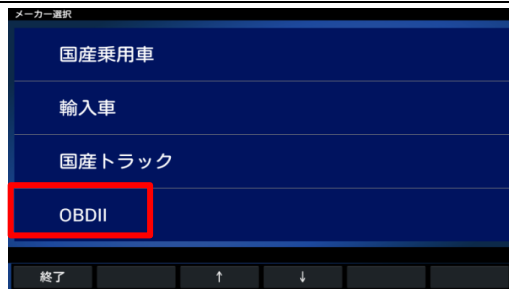
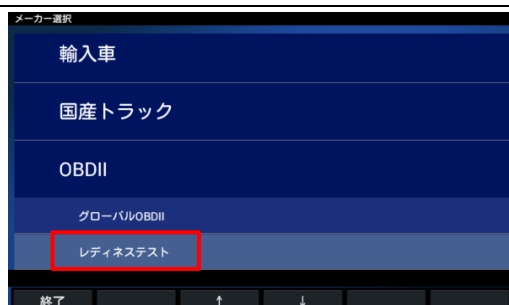

<p>①</p>	<p>メインメニュー画面で「アクティブテスト」を選択します。</p>	 <p>トヨタ メインメニュー トヨタプリウス 品川 301 5 49:50</p> <p>診断 カスタマイズ 作業サポート アクティブテスト</p> <p>点検モード</p> <p>戻る グローバルOBDII 終了</p>
----------	------------------------------------	---

<p>②</p>	<p>行なうアクティブテストのシステムを選択します。</p> <p>今回は冷却ファン駆動の為、「HV」を選択。</p>	
<p>③</p>	<p>実施したいアクティブテストを選択し、操作に従ってください。(車両によって対応できている項目が異なっております)</p> <p>また項目の詳細に関しましては整備マニュアルを参照下さい。</p>	

7-7、レディネステスト

排ガス関連の制御部品が正しく許容範囲内の状態かを監視するシステムを確認する機能です。
 ※「メーカー選択」の画面からのみ対応しております。

(使用する場合、初期画面にて車両を選択しないでください。)

<p>①</p>	<p>メーカー選択画面にて「OBD II」ソフトを選択します。</p>																																					
<p>②</p>	<p>レディネステストを選択します。</p>																																					
<p>③</p>	<p>レディネステストの画面が表示されます。</p>	 <table border="1" data-bbox="869 1724 1348 1982"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MIL</td> <td>○</td> <td>点火モタ</td> <td>Spark</td> </tr> <tr> <td>ダイアグコード数</td> <td>✓</td> <td>バンディングコード数</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>失火モタ</td> <td>✓</td> <td>燃料系モタ</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>構成部品モタ</td> <td>✓</td> <td>触媒モタ</td> <td>✗</td> </tr> <tr> <td>加熱触媒モタ</td> <td>—</td> <td>EPAノージモタ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2次DP-系モタ</td> <td>—</td> <td>A/C系モタ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>O2セグモタ</td> <td>✗</td> <td>O2セグモタ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>EGR系モタ</td> <td>✗</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	値	項目	値	MIL	○	点火モタ	Spark	ダイアグコード数	✓	バンディングコード数	✓	失火モタ	✓	燃料系モタ	✓	構成部品モタ	✓	触媒モタ	✗	加熱触媒モタ	—	EPAノージモタ	—	2次DP-系モタ	—	A/C系モタ	—	O2セグモタ	✗	O2セグモタ	—	EGR系モタ	✗		
項目	値	項目	値																																			
MIL	○	点火モタ	Spark																																			
ダイアグコード数	✓	バンディングコード数	✓																																			
失火モタ	✓	燃料系モタ	✓																																			
構成部品モタ	✓	触媒モタ	✗																																			
加熱触媒モタ	—	EPAノージモタ	—																																			
2次DP-系モタ	—	A/C系モタ	—																																			
O2セグモタ	✗	O2セグモタ	—																																			
EGR系モタ	✗																																					

※車両により対応していない場合があります。

※グローバル OBD II ソフトは各カーメーカーのメインメニュー下部からも選択できますが、「レディネステスト」は選択できません。

必ず車両を選択せず、操作をしてください。



7-8、点検モード

ハイブリッド車やディーゼル車のインジェクター/DPF の点検や状態を素早く確認が出来ます。





7-8-1、HV 点検モード

例：HV 点検モード（トヨタ/レクサスのハイブリッド車にて対応）


<p>①</p>	<p>トヨタ/レクサスメーカー選択画面にて「点検モード」を選択します。</p>	
<p>②</p>	<p>「HV 点検」を選択します。</p>	
<p>③</p>	<p>各点検項目が表示されます。 オプションプリンターがある場合は項目順点検を行ない、最後に結果を入力する事で結果レシートを出力する事が出来ます。</p>	

7-8-1-1、HV 点検モードのカラー用紙

HV 点検モードでは印字したレシートを貼れるよう用紙をご用意しております。
お客様に結果をお渡しする際、ご使用してください。

<p>①</p>	<p>付属のACアダプターをMST3000の電源ジャックに接続し、MST3000とパソコンをUSBケーブルにて接続します</p>	
<p>②</p>	<p>電源スイッチを押します。 下記の画面が出るまで待機します。</p>	
<p>③</p>	<p>「UPDATE」を選択します。</p>	
<p>④</p>	<p>「パソコン接続」を選択します。 画面が接続中になりましたら、接続しているパソコンの作業を行います。</p>	

パソコンでの作業

<p>⑤</p>	<p>デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックします。 ※Windows 7/8 の場合は「コンピューター」や「コンピュータ」になります。</p>	
----------	---	--

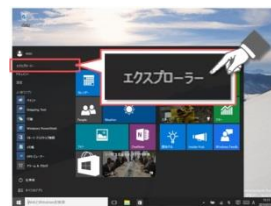
Windows10 ご使用のお客様のコンピューター（PC）の開き方

1. 画面左下の、Windows マークをクリックします。

※キーボードの「Windows キー」でも表示出来ます



2. メニューを開いたら、「エクスプローラ」をクリックして開きます。

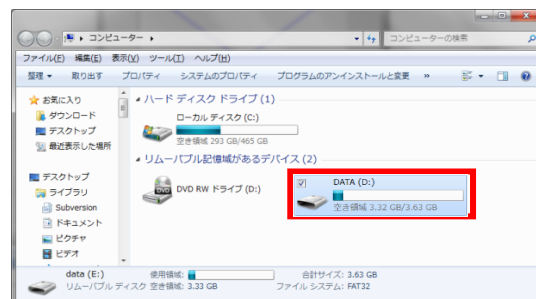


3. エクスプローラ画面が表示されたら、

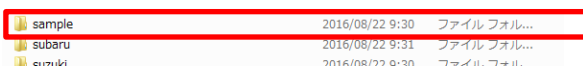
左側メニューより『PC』をクリックして選択します。



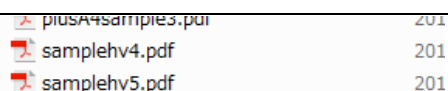
⑥ 「DATA」を選択します。



⑦ 「sample」フォルダーを選択します。



⑧ 「samplehiv4」（説明用紙）
「samplehiv5」（提案用紙）です。



以下の用紙を印刷することができます。

ハイブリッド車の特別な点検！

ハイブリッド点検

作業日	作業者
年 月 日	
メーカー	車種

結果添付欄

HV診断

ハイブリッドシステムに故障がないかチェックします。

電動ファン点検

ハイブリッドバッテリーを冷却している電動ファンの動作チェックを行います。

ウォーターポンプ点検

ハイブリッド車で重要な部品であるインバーターを冷却しているウォーターポンプの動作チェックを行います。

HV電池点検

ハイブリッドバッテリーの充電状態や充電のバラつきがないか確認いたします。

HV電池抵抗

ハイブリッドバッテリーの劣化状態や劣化のバラつきがないか確認いたします。

※備考

異常がある場合は
早急な点検/整備を
オススメします！

Copyright©2018 BANZAI LTD. All right reserved.

ハイブリッド車の特別な点検！

ハイブリッド点検

ハイブリッド車はエンジンとモーターで走る自動車です。ハイブリッド車では通常の車両と異なり、HVバッテリーを初めとする特別な部品を搭載しております！

当整備工場では最新鋭コンピューター診断機を使用してハイブリッド車のシステムに異常がないか、またバッテリーを冷却しているファンの点検やハイブリッドバッテリーの状態など目には見えない部分まで点検いたします。ハイブリッド車オーナーの方に特別な点検をご提案します！

HV診断

ハイブリッドシステムに故障がないかチェックします。

電動ファン点検

ハイブリッドバッテリーを冷却している電動ファンの動作チェックを行います。

ウォーターポンプ点検

ハイブリッド車で重要な部品であるインバーターを冷却しているウォーターポンプの動作チェックを行います。

HV電池点検

ハイブリッドバッテリーの充電状態や充電のバラつきがないか確認いたします。

HV電池抵抗

ハイブリッドバッテリーの劣化状態や劣化のバラつきがないか確認いたします。

※ハイブリッド点検はレクサス/トヨタに
対応しております

作業時間

料金

定期的な点検で
大きなトラブルを
防ぐ事が可能です！

トラブルを防ぐ予防整備
としてオススメです！



Copyright©2018 BANZAI LTD. All right reserved.

A 4 縦 提案用紙

A 4 縦 説明用紙



7-8-2、インジェクターチェックモード

インジェクターチェックモードではインジェクターの燃料補正量を確認する事が出来ます。
大型ディーゼル車にて対応しています。

<p>①</p>	<p>大型車メーカーのメインメニューにて点検モードを選択し、インジェクターチェックモードを選択します。</p>																																											
<p>②</p>	<p>各気筒の燃料噴射量が表示されます。 ※メーカーや車種により対応していない場合があります。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> <th>単位</th> <th>最小値</th> <th>平均値</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1気筒燃料噴射補正量</td> <td>-0.5</td> <td>mm3/st</td> <td>-0.5</td> <td>-0.5</td> <td>-0.5</td> </tr> <tr> <td>第2気筒燃料噴射補正量</td> <td>2.2</td> <td>mm3/st</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>第3気筒燃料噴射補正量</td> <td>-2.2</td> <td>mm3/st</td> <td>-2.2</td> <td>-2.2</td> <td>-2.2</td> </tr> <tr> <td>第4気筒燃料噴射補正量</td> <td>-0.3</td> <td>mm3/st</td> <td>-0.3</td> <td>-0.3</td> <td>-0.3</td> </tr> <tr> <td>第5気筒燃料噴射補正量</td> <td>1.1</td> <td>mm3/st</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>第6気筒燃料噴射補正量</td> <td>-0.2</td> <td>mm3/st</td> <td>-0.2</td> <td>-0.2</td> <td>-0.2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	値	単位	最小値	平均値	最大値	第1気筒燃料噴射補正量	-0.5	mm3/st	-0.5	-0.5	-0.5	第2気筒燃料噴射補正量	2.2	mm3/st	2.2	2.2	2.2	第3気筒燃料噴射補正量	-2.2	mm3/st	-2.2	-2.2	-2.2	第4気筒燃料噴射補正量	-0.3	mm3/st	-0.3	-0.3	-0.3	第5気筒燃料噴射補正量	1.1	mm3/st	1.1	1.1	1.1	第6気筒燃料噴射補正量	-0.2	mm3/st	-0.2	-0.2	-0.2
項目	値	単位	最小値	平均値	最大値																																							
第1気筒燃料噴射補正量	-0.5	mm3/st	-0.5	-0.5	-0.5																																							
第2気筒燃料噴射補正量	2.2	mm3/st	2.2	2.2	2.2																																							
第3気筒燃料噴射補正量	-2.2	mm3/st	-2.2	-2.2	-2.2																																							
第4気筒燃料噴射補正量	-0.3	mm3/st	-0.3	-0.3	-0.3																																							
第5気筒燃料噴射補正量	1.1	mm3/st	1.1	1.1	1.1																																							
第6気筒燃料噴射補正量	-0.2	mm3/st	-0.2	-0.2	-0.2																																							

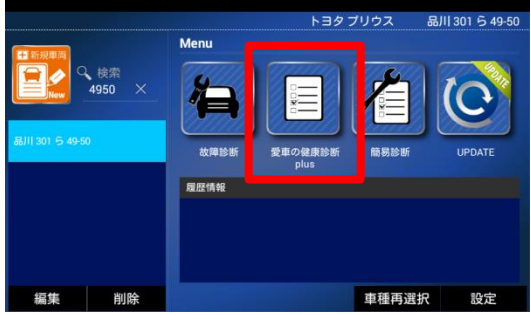
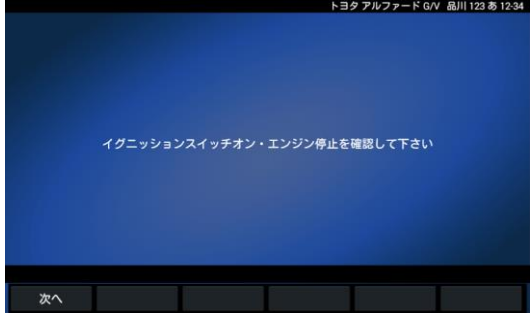
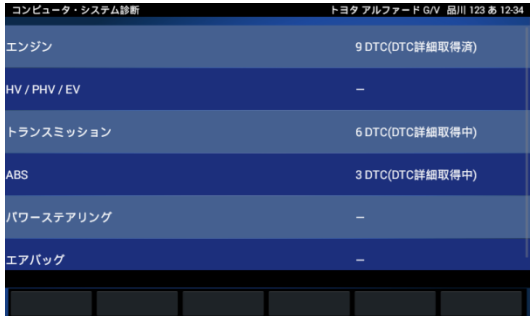

7-8-3、DPF 差圧チェックモード

DPF 差圧チェックモードではDPF の詰まり具合目安である差圧を確認する事が出来ます。
大型ディーゼル車にて対応しています。

<p>①</p>	<p>大型車メーカーのメインメニューにて点検モードを選択し、DPF 差圧チェックモードを選択します。</p>																			
<p>②</p>	<p>DPF 差圧関連の情報が表示されます。 ※メーカーや車種により対応していない場合があります。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> <th>単位</th> <th>最小値</th> <th>平均値</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エンジン回転数</td> <td>2101</td> <td>rpm</td> <td>2092</td> <td>2100</td> <td>2104</td> </tr> <tr> <td>差圧</td> <td>2.93</td> <td>kPa</td> <td>0.20</td> <td>2.57</td> <td>3.00</td> </tr> </tbody> </table> <p>EXIT: 停止</p>	項目	値	単位	最小値	平均値	最大値	エンジン回転数	2101	rpm	2092	2100	2104	差圧	2.93	kPa	0.20	2.57	3.00
項目	値	単位	最小値	平均値	最大値															
エンジン回転数	2101	rpm	2092	2100	2104															
差圧	2.93	kPa	0.20	2.57	3.00															

8. 愛車の健康診断 plus

6つの主要システム(エンジン・HV/PHV/EV・トランスミッション・ABS・パワーステアリング・エアバッグ)の故障コードの有無と、
タイヤ/エンジンオイル/バッテリーの点検結果を入力し、総合点検結果の印刷・保存を行います。

<p>①</p>	<p>初期画面から「健康診断 plus」を選択してください。</p> <p>※登録済みの車両はナンバー検索をしてから「健康診断 plus」をタップして下さい。</p>	
<p>②</p>	<p>「イグニッションスイッチオン・エンジン停止を確認して下さい」が表示されます。メッセージの内容を確認後「次へ」を選択してください。</p>	
<p>車種やエンジン型式等を選択する画面が表示された場合は、対象車両を選択をしてください。各システムに通信の確認をします。診断する車両によって時間がかかる場合がございます。</p>		
<p>③</p>	<p>6つの主要システム (エンジン・HV/PHV/EV・トランスミッション・ABS・パワーステアリング・エアバッグ)の故障コードの有無を表示します。</p>	
<p>④</p>	<p>[タイヤ] 溝/異常磨耗/亀裂 [エンジンオイル] 汚れ [バッテリー] 総合点検/寿命(%) 始動能力/充電系テスト 良否判定を入力し、「次へ」をタップします。</p>	

⑤

6つの主要システム
 (エンジン・HV/PHV/EV・トランスミッション・
 ABS・パワーステアリング・エアバッグ)
 の故障コードの有無と、タイヤ/エンジン
 オイル/バッテリーの点検結果を入力し、
 総合点検結果の印刷・保存を行います。

総合点検結果 異常なし		トヨタ アルファード G/V 品川 123 車 1234	
点検日時	:	2016/04/04 18:18:22	
メーカー	:	トヨタ	
車名	:	アルファード G/V	
車両情報(ナンバー下4ケタ)	:	12-34	
走行距離	:		
コンピュータ・システム診断			
エンジン	:	OK	
HV / PHV / EV	:	-	
トランスミッション	:	OK	
ABS	:	OK	
パワーステアリング	:	-	
エアバッグ	:	-	
タイヤ			
タイヤ溝(総合)	:	良好	
異常摩耗や亀裂	:	有	
備考(タイヤ) :			
エンジンオイル			
エンジンオイルの汚れ	:	注意	
備考(エンジンオイル) :			
バッテリー			
バッテリー総合診断	:	良好	
バッテリー寿命	:		
バッテリー始動能力	:	良好	
充電系テスト結果	:	良好	
備考(バッテリー) :			
総合点検結果	:	異常なし	
備考(総合点検) :			
簡易印刷 Wi-Fi印刷 戻る 終了			

⑥

【1:簡易印刷】
 オプションプリンターにてレシート印字致します。
 シリアルポート接続、または Bluetooth 接続により
 プリンターへ印刷データを出力します。
 ※「5-4、オプションプリンター (有線/無線)
 接続切り替え方法」で接続方法の切り替えが
 可能です。





【2: Wi-Fi 印刷】
 エプソンまたはキャノンの Wi-Fi ダイレクト機能搭
 載のプリンターにて A4 サイズで印刷します。
 ※「5-5、Wi-Fi 設定 / Wi-Fi プリンターの
 設定をする」を参照して下さい。
 ※MST3000 とエプソンまたはキャノンの Wi-Fi
 ダイレクト機能搭載のプリンターを Wi-Fi 接続
 します。Wi-Fi ダイレクト機能の使い方は
 プリンターの取扱説明書をご確認下さい。

【3:終了】
 終了ボタンを押す事で総合点検結果が保存されます
 保存した総合点検結果は、ホームの車両履歴一覧
 から確認することができます。





8-1、愛車の健康診断 Plus のカラー用紙の印字

愛車の健康診断 Plus では印字したレシートを貼れるよう用紙をご用意しております。
お客様に結果をお渡しする際、ご使用してください。

<p>①</p>	<p>付属のACアダプターをMST3000の電源ジャックに接続し、MST3000とパソコンをUSBケーブルにて接続します</p>	
<p>②</p>	<p>電源スイッチを押します。 下記の画面が出るまで待機します。</p>	
<p>③</p>	<p>「UPDATE」を選択します。</p>	
<p>④</p>	<p>「パソコン接続」を選択します。 画面が接続中になりましたら、接続しているパソコンの作業を行います。</p>	

パソコンでの作業

<p>⑤</p>	<p>デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックします。 ※Windows 7/8 の場合は「コンピューター」や「コンピュータ」になります。</p>	
----------	---	--

Windows10 ご使用のお客様のコンピューター (PC) の開き方

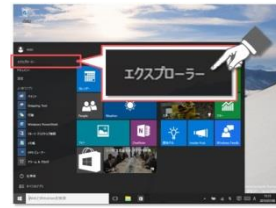
1. 画面左下の、Windows マークをクリックします。

※キーボードの「Windows キー」でも表示出来ます



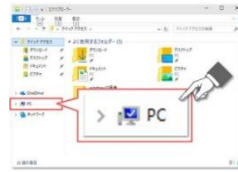
2. メニューを開いたら、「エクスプローラ」を

クリックして開きます。

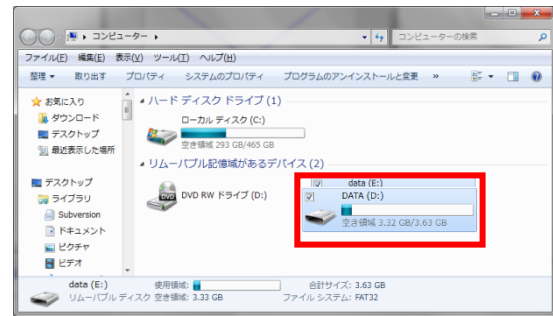


3. エクスプローラ画面が表示されたら、

左側メニューより『PC』をクリックして選択します。



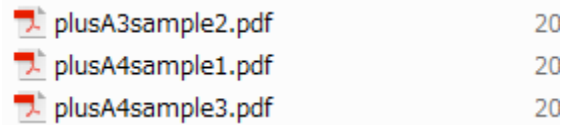
⑥ 「DATA」を選択します。



⑦ 「sample」フォルダーを選択します。



⑧ 「plusA3sample2」(A3 横 説明用紙)
「plusA4sample1」(A4 縦 提案用紙)
「plusA4sample3」(A4 縦 説明用紙)
を選択します。



以下の用紙を印刷することができます。

突然のトラブルや大きな故障を未然に防ぐ
愛車の健康診断plus

今の自動車は走るコンピューターです！

自動車の性能や機能は様々な車載コンピューターによって様々なセンサーが制御されています！
車載コンピューターにアクセスする事で、センサーの不具合がないかどうかを確認する事が可能です。

センサーなどが壊れると・・・

ひどい故障の場合には警告灯を点灯。
ひどくない場合には警告灯は点灯しませんが、燃費が悪くなる・大きな故障につながる可能性があります。
大きな故障では修理代が数十万円になる事も・・・

愛車健康診断plusで未然に防ぐ事が出来ます

愛車の健康診断plusでは車載コンピューターにアクセス！

車載コンピューターにアクセスする事で、センサーの不具合がないかどうかを確認する事が可能です。
最新機器のスキャンツールを当整備工場で購入しています。

愛車の健康診断plusでは車載コンピューターにアクセス！

車載コンピューターだけでなく、バッテリーやエンジンオイル、タイヤなどの状態も合わせてチェック致します！

週末、出かけた先で車の故障・・・美しい思い出が台無しに・・・
その故障はもししたら未然に防げたかも知れません！
そうならない為に愛車の健康診断plusをおススメします。

愛車の健康診断作業の流れ！

①診断コネクタに診断機を接続
お客様の車に診断機を接続します。

②コンピューター診断
ご車載のECUは車載診断機に直接接続し診断も可能です。

③バッテリー/タイヤ/オイルの点検

④お客様へご説明
診断結果のレポートを基にご車載のECUに直接接続して診断致します。

詳しい内容やお申し込み付は
愛車の健康診断plus
お気軽に弊社スタッフまで！

作業時間 **料金**

車にも定期的な健康診断が
必要です！

■ご用命は

Copyright©2016 BANSAL.FTD. All right reserved.

A3 横 説明用紙

突然のトラブルや大きな故障を未然に防ぐ
愛車の健康診断plus

作業日	作業名
年 月 日	
メーカー	車種

結果添付欄

コンピューター・システム診断
車の主要なコンピューターにて故障コードがないか確認致します。故障がある場合には早急に点検整備が必要です。

タイヤ
異常磨耗や亀裂等、漏れなどを点検致します。異常があるタイヤでは事故の原因やブレーキ制動距離が伸びる可能性が高い為、交換が必要です。

エンジンオイル
エンジンオイルの汚れや量などを点検致します。劣化したエンジンオイルを使用し続けるとエンジンに悪影響を及ぼす可能性があります。汚れたエンジンオイルを使用し続けるとエンジンに悪影響を及ぼす可能性があります。汚れたエンジンオイルを使用し続けるとエンジンに悪影響を及ぼす可能性があります。汚れたエンジンオイルを使用し続けるとエンジンに悪影響を及ぼす可能性があります。

バッテリー
バッテリーの寿命や始動能力を点検致します。劣化したバッテリーを使用し続けると、バッテリー上がりなどのトラブルになる可能性が高い為、定期的な交換が必要です。

総合診断結果

異常あり 異常なし

異常がある場合は
早急な点検/整備を
オススメです！

※備考

A 4 縦 提案用紙

突然のトラブルや大きな故障を未然に防ぐ
愛車の健康診断plus

今の自動車は走るコンピューターです！

自動車の性能や機能は様々な車載コンピューターによって様々なセンサーが制御されています！
車載コンピューターにアクセスする事で、センサーの不具合がないかどうかを確認する事が可能です。

センサーなどが壊れると・・・

ひどい故障の場合には警告灯を点灯、ひどくない場合には警告灯は点灯しませんが、燃費が悪くなる・大きな故障につながる可能性があります。
大きな故障では修理代が数十万円になる事も・・・

愛車健康診断plusで未然に防ぐ事が出来ます

愛車の健康診断plusでは車載コンピューターにアクセス！

車載コンピューターにアクセスする事で、センサーの不具合がないかどうかを確認する事が可能です。
最新機器のスキャンツールを当整備工場で購入しています。

愛車の健康診断plusでは車載コンピューターにアクセス！

車載コンピューターだけでなく、バッテリーやエンジンオイル、タイヤなどの状態も合わせてチェック致します！

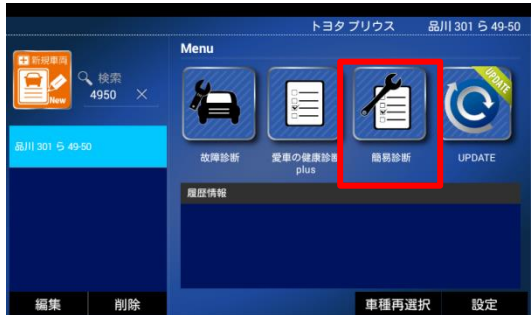

作業時間


料金

A 4 縦 説明用紙

9. 簡易診断

6つの主要システム(エンジン・HV/PHV/EV・トランスミッション・ABS・パワーステアリング・エアバッグ)の故障コードの有無を確認します。

<p>①</p>	<p>初期画面から「簡易診断」を選択してください。</p> <p>※登録済みの車両はナンバー検索をしてから「簡易診断」をタップして下さい。</p>	
<p>車種やエンジン型式等を選択する画面が表示された場合は、対象車両を選択をしてください。各システムに通信の確認をします。診断する車両によって時間がかかる場合がございます。</p>		
<p>②</p>	<p>6つの主要システム(エンジン・HV/PHV/EV・トランスミッション・ABS・パワーステアリング・エアバッグ)の故障コードの有無を表示します。</p>	

<p>③</p> <p>【1: 簡易印刷】 オプションプリンターにてレシート印字致します。 シリアルポート接続、または Bluetooth 接続により プリンターへ印刷データを出力します。 ※『設定画面(簡易印刷 接続切り替え)』で接続方法 の切り替えが可能です。</p> <p>【2: 終了】 終了ボタンを押すことで簡易診断結果が保存され ます。保存した簡易診断結果は、ホームの車両履歴 一覧から見る事が可能です。</p>	 <p>簡易診断 トヨタ アルファード G/V 品川 123 あ 12:34</p> <p>点検日時 : 2016/05/16 01:25:03</p> <p>メーカー : トヨタ</p> <p>車名 : アルファード G/V</p> <p>車両情報(ナンバー下4ケタ) : 12-34</p> <p>コンピュータ・システム診断</p> <p>エンジン : 2 DTC</p> <p>現在故障</p> <p>P0001 整備書で確認して下さい</p> <p>P0002 整備書で確認して下さい</p> <p>HV / PHV / EV : -</p> <p>トランスミッション : -</p> <p>ABS : -</p> <p>パワーステアリング : -</p> <p>エアバッグ : -</p> <p>簡易印刷 終了</p>
--	--

10、簡易印刷/データ保存/保存データの確認方法

故障コードやデータモニタなどの結果を「オプションプリンターにて印字」や「データ保存」が可能です。

10-1、簡易印刷（オプションプリンター）

- ①「5-5、簡易印刷で使用するプリンターを設定する」にてプリンターの設定を行います。
- ②オプションプリンターの電源が入っている事を確認します。
- ③故障コードやデータモニタの表示画面にて「簡易印刷」を選択します。



※プリンターから印字されない場合は「プリンターの電源が入っていない」、または「プリンター設定がされていない」可能性があります。上記①②を再度確認して下さい。

10-2、データ保存

- ①故障コードやデータモニタの表示画面にて「保存」を選択します。



②保存されたファイル名が表示されましたら保存完了です。





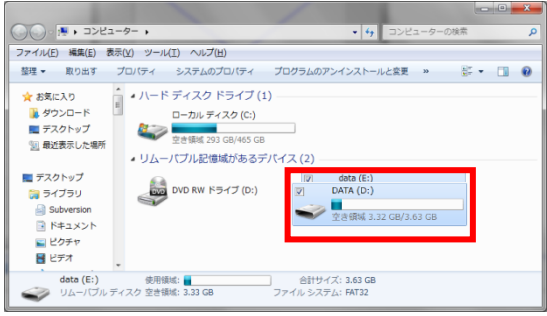
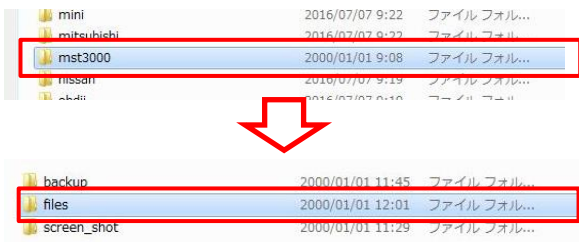
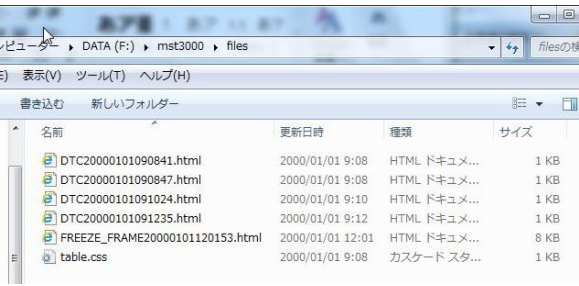


10-3、保存データ確認方法

MST3000内の「files」フォルダー内に保存したデータが格納されています。

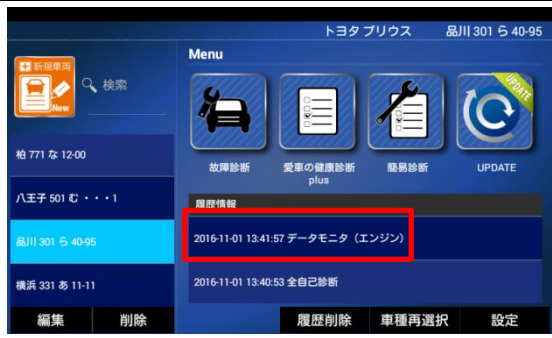


<p>①</p>	<p>付属のACアダプターをMST3000の電源ジャックに接続し、MST3000とパソコンをUSBケーブルにて接続します。</p>	
<p>②</p>	<p>電源スイッチを押します。 下記の画面が出るまで待機します。</p>	
<p>③</p>	<p>「UPDATE」を選択します。</p>	
<p>④</p>	<p>「パソコン接続」を選択します。</p>	

パソコンでの作業

<p>⑤</p>	<p>デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックします。 ※Windows 7/8 の場合は「コンピューター」や「コンピュータ」になります。</p>	
<p>Windows10 ご使用のお客様のコンピューター (PC) の開き方</p>		
<p>1. 画面左下の、Windows マークをクリックします。 ※キーボードの「Windows キー」でも表示出来ます</p>  <p>2. メニューを開いたら、「エクスプローラ」をクリックして開きます。</p>  <p>3. エクスプローラ画面が表示されたら、左側メニューより『PC』をクリックして選択します。</p> 		
<p>⑥</p>	<p>「DATA」を選択します。</p>	
<p>⑦</p>	<p>「mst3000」フォルダーを選択し、「files」フォルダーを選択します。</p>	
<p>⑧</p>	<p>保存したデータが表示されます。</p>	

10-4、データモニタのCSV出力

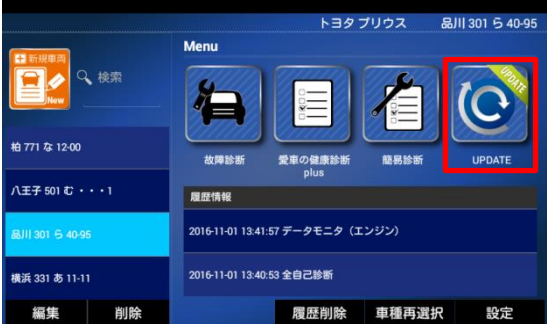

保存したデータモニタを履歴情報からCSV出力することができます。

<p>①</p>	<p>保存したデータモニタを履歴情報から選択します。</p>																																																	
<p>②</p>	<p>「CSV 出力」を選択します。</p>	 <table border="1" data-bbox="853 604 1388 929"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> <th>単位</th> <th>最小値</th> <th>平均値</th> <th>最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エンジン回転数</td> <td>978</td> <td>rpm</td> <td>0</td> <td>952</td> <td>2787</td> </tr> <tr> <td>エンジン負荷値</td> <td>23.9</td> <td>%</td> <td>0.0</td> <td>26.2</td> <td>96.0</td> </tr> <tr> <td>絶対負荷値</td> <td>2.3</td> <td>%</td> <td>0.0</td> <td>9.1</td> <td>48.2</td> </tr> <tr> <td>吸入空気量</td> <td>0.43</td> <td>g/s</td> <td>0.17</td> <td>2.69</td> <td>8.76</td> </tr> <tr> <td>大気圧</td> <td>99</td> <td>kPa</td> <td>99</td> <td>99</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>インターコOLER圧</td> <td>18</td> <td>kPa</td> <td>15</td> <td>56</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>エンジン冷却水温</td> <td>41</td> <td>℃</td> <td>38</td> <td>39</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table>	項目	値	単位	最小値	平均値	最大値	エンジン回転数	978	rpm	0	952	2787	エンジン負荷値	23.9	%	0.0	26.2	96.0	絶対負荷値	2.3	%	0.0	9.1	48.2	吸入空気量	0.43	g/s	0.17	2.69	8.76	大気圧	99	kPa	99	99	99	インターコOLER圧	18	kPa	15	56	101	エンジン冷却水温	41	℃	38	39	41
項目	値	単位	最小値	平均値	最大値																																													
エンジン回転数	978	rpm	0	952	2787																																													
エンジン負荷値	23.9	%	0.0	26.2	96.0																																													
絶対負荷値	2.3	%	0.0	9.1	48.2																																													
吸入空気量	0.43	g/s	0.17	2.69	8.76																																													
大気圧	99	kPa	99	99	99																																													
インターコOLER圧	18	kPa	15	56	101																																													
エンジン冷却水温	41	℃	38	39	41																																													
<p>③</p>	<p>CSV ファイルで本体に出力を開始します。図の表示ができましたら CSV 形式で本体に保存されました。</p>																																																	


10-4-1、出力したCSVデータの確認

出力したCSVデータをパソコンにて確認することができます。

<p>①</p>	<p>付属のACアダプターをMST3000の電源ジャックに接続し、MST3000とパソコンをUSBケーブルにて接続します。</p>	
----------	---	--

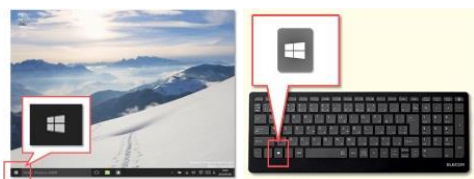
<p>②</p>	<p>トップ画面にて「UPDATE」を選択します。</p>	
<p>③</p>	<p>「パソコン接続」を選択します。 右画面が表示されます。 MST3000 はこの画面のまま待機します。</p>	

パソコンでの作業

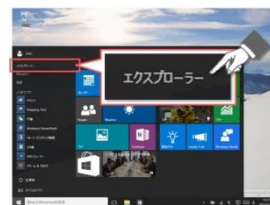
<p>⑤</p>	<p>デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックします。 ※Windows 7/8 の場合は「コンピューター」や「コンピュータ」になります。</p>	
----------	---	--

Windows10 ご使用のお客様のコンピューター（PC）の開き方

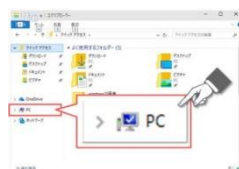
1. 画面左下の、Windows マークをクリックします。
※キーボードの「Windows キー」でも表示出来ます

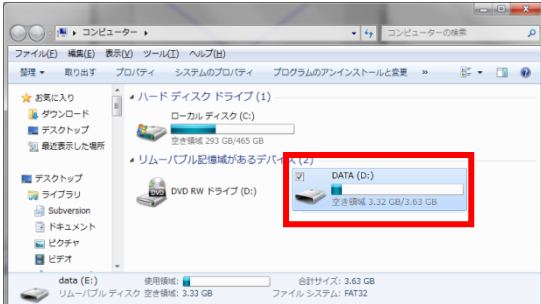

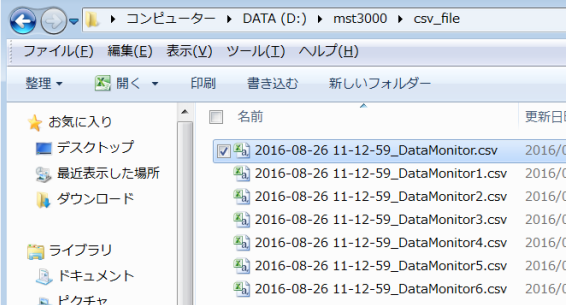


2. メニューを開いたら、「エクスプローラ」をクリックして開きます。



3. エクスプローラ画面が表示されたら、
左側メニューより『PC』をクリックして選択します。



⑥	「DATA」を選択します。	
⑦	「mst3000」フォルダーを選択し、「csv_file」フォルダを開きます。	
⑧	保存したデータが表示されます。	

1 1. 定期点検

安全にご使用頂くために、必ず定期点検を実施してください。尚、ご不明の点がある場合には、お買求めの販売会社、または弊社にお問合わせください。

⚠ 注 意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常箇所の修復を完全に行うまで、診断機の使用を禁止し、直ちに販売会社に修理を依頼してください。そのままお使いになると診断機の破損や重大な事故につながる危険性があります。また修理には、バンザイ純正部品をご使用ください。

- 1、MST3000 本体のボルト・ナット類の緩みがないことを確認してください。
- 2、ケーブル等に損傷・変形・摩耗などが無いことを確認してください。
- 3、バックアップを行い、作成したデータをパソコンに保存してください。

1 2. 故障かなと思ったら

異常が生じた時は、この取扱説明書をよく読んで頂き、下記の点検をした上で、それでも解消されない場合は、お買上げの販売会社へご相談ください。

1 2-1、診断時のトラブルシューティング

症状	点検または処置方法
画面がフリーズして操作が出来なくなった。	MST3000 本体上部にあるリセットボタンを押して下さい。 改善しない場合やフリーズが頻繁に発生する場合はお買上げの販売会社へご相談ください。
車両と通信が出来ない	①車両がキーON 状態になっているか確認をして下さい。 ②OBD II ケーブルの接触不良および断線の確認をして下さい。 ③アップデートを行って下さい。アップデートを行っても通信できない場合、対応出来てない車両の場合があります。
診断中に電源が落ちる (いすゞ/三菱ふそう)	いすゞや三菱ふそうの一部車両では診断コネクターから電源が来ておりません。内蔵バッテリーの充電が十分でない時は付属のシガーライターケーブルまたは AC アダプターを接続して診断をして下さい。
OBD II ケーブルを外した際に電源が落ちる	内蔵バッテリーの充電不足が考えられます。内蔵バッテリーはフル充電にて約3時間(スリープ状態にて)です。
故障コードが分からない	商品に付属する車両修理ホットラインにてお問い合わせ下さい。 (1年間無料 2年目以降 24,000円(税抜)/円)
お客様が車両を乗り換えた (車両選択ショートカット)	対象車両を選択後、「編集」をして新しい車両情報を登録させて下さい。過去の診断データを消さず車両情報のみ変更できます。

12-2、ユーザー登録/アップデートのトラブルシューティング

症状	点検または処置方法
「サーバーに接続出来ません」と表示される	セキュリティソフトによってユーザー登録やアップデートが行えない状況です。Wi-Fi を使用した方法またはバンザイのホームページから行なう方法にて行って下さい。
アップデートが進まない または途中で止まる	1.インターネット接続が正常か確認してください。 2.インターネット回線速度が遅い可能性があります。別のパソコンまたは別の環境で行って下さい。
ユーザー登録後のメールが来ない	ユーザー登録情報のアドレスに不備がある場合があります。 また正しく入力していても送信先のメールにて迷惑メールに分類されている可能性があります。
アップデートをしばらく行っておらず、通常の方法でアップデートが出来ていたのに出来なくなった。	以前、通常の方法で出来ていた場合は「mst3000.exe」のデータが古い可能性があります。新しくダウンロード頂き、SD カード内に上書きをして下さい。 バンザイのホームページの MST3000 ページにてダウンロードが可能です。

13. 本体仕様

本体仕様	
本体寸法	260(W)x135(H)x34(D)mm
本体重量	795g
電源電圧	10-32VDC
仕様温湿度範囲	0~+50°C (20~85%RH)
保存温湿度範囲	-20~+70°C (20~85%RH)
CPU	ARM Cortex A8 1GHz(main)/ Cortex M3 72MHz (sub)
ROM(OS)	512MB NAND
ROM(AP)	8GB(micro SDHC)
RAM	512MB
Wi-Fi	IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)
Bluetooth	4.0/BLE
PC 用 I/F	USB2.0 x 2 (Host / Device)、RS232C シリアルポート
標準 I/F	CAN (ISO-11898, ISO-11519, SAE-J2411), K-Line / L-Line (ISO-9141, ISO-9141-CARB, KWP2000,SAE-J1850,SAE-J1708), Generic (pull-up/pull-down UART x 2) DDL, MMC)
LCD	7.0 インチ (800 RGBx480 pixels)
操作キー	キャパシティブタッチパネル
バッテリー	リチャージャブルリチウムイオン 3.7V 2500mAh
OS	Android 4.4.4

対応車種	
日本車	国産車8メーカー 国産トラック4メーカー 16ピン台形コネクタ採用車(平成 12 年前後以降の車両が目安)
米国車	OBD II 規格車(1996 年以降)
欧州車	E-OBD規格車
米国車の診断対象はPコード(パワートレイン)のみです 欧州車ソフトで対応していない車輛の診断対象はPコード(パワートレイン)のみです	

1 4. 製品保証/アップデートの更新/修理ホットラインの更新

1 4-1、製品保証

MST3000 本体 → 3年間の本体保障

MST3000 以外の付属品またはオプション品 → 1年間の本体保障

お客様がインターネットを使用してユーザー登録した日を開始日として3年間にわたり（MST3000 以外の付属品またはオプション品は1年間）、商品に関する材料と製造上の欠陥に対し保証されています。但し、保証期間はインターネットを使用して、正しくユーザー登録されている場合にのみ有効です。但し、二次的に発生する損失の保証並びに、次の場合に該当する場合は保証いたしません。

1. 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した事故及び損傷。
2. 製品の機構に影響を及ぼす変更や改造を加え、それが原因で発生した事故など。
3. 電池など部品等のあらゆる自然損耗する部品並びに消耗品。
4. 火災、地震、風水害、その他天災地変等、外部に要因がある事故及び損傷。
5. 指定された純正部品をご使用されなかった事に起因する事故及び損傷。

保証規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上げの販売会社までご一報ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

- ・保証の要否は大変勝手ながら弊社において判断させていただきます。ご了承ください。
- ・お買い上げになりました MST3000 本体、ケーブル、アダプター等を修理の為に送付しなければならない場合の往復運賃はお客様の負担となります。

1 4-2、アップデートの更新

MST3000 では3年間のアップデートが標準付属しております。3年経過後は診断ソフトのアップデートが行えない為、アップデート契約の更新が必要です（任意）。3年経過する更新月に「ユーザー登録にて入力頂いたメールアドレス」に更新案内メールをお送り致します。ご注文は MST3000 をご購入された販売店にご注文をお願い致します。

※無償アップデート終了日は MST3000 のトップ画面より UPDATE を選択するとご自身で確認出来ます。

尚、無償アップデート契約終了月に更新契約を頂いた場合には特典として本体保証も合わせて1年間延長されます。無償アップデート契約終了月を過ぎると特典はありませんのでご注意願います。

1 4-3、修理ホットラインの更新

MST3000 では1年間の修理ホットラインが標準付属しております。1年経過後は修理ホットラインの更新が必要です（任意）。1年経過する更新月に「ユーザー登録にて入力頂いたメールアドレス」に更新案内メールをお送り致します。ご注文は MST3000 をご購入された販売店にご注文をお願い致します。

15. 製品保証規定

製品の取り扱いに関するお問い合わせがございましたらご購入された販売店またはお近くのバンザイ各事業所までご連絡ください。尚、故障コードに対する修理方法等は、弊社では返答しかねますので、商品に付属する修理ホットラインまたはカーメーカー発行の修理書等をご覧頂く様、予めご了承願います。

販売元 株式会社バンザイ

■札幌支店 管轄エリア:北海道	〒063-0801 TEL (011)621-4171 札幌市西区 24 軒1条 7-3-10
■仙台支店 管轄エリア:宮城県、青森県、秋田県、岩手県 山形県、福島県	〒983-0005 TEL (022)258-0221 仙台市宮城野区福室 2-8-21
■関東支店 管轄エリア:埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県 栃木県、群馬県、新潟県、長野県	〒364-0011 TEL (048)590-3700 北本市朝日 4-553
■東京支店 管轄エリア:東京都、神奈川県、静岡県、 山梨県	〒108-0023 TEL (03)3769-6840 東京都港区芝浦 4-16-23 AQUACITY 芝浦8F
■名古屋支店 管轄エリア:愛知県、岐阜県、三重県 富山県、石川県、福井県	〒464-0852 TEL (052)732-2600 愛知県名古屋市千種区青柳町 6-26
■大阪支店 管轄エリア:大阪府、京都府、兵庫県 滋賀県、奈良県、和歌山県 愛媛県、香川県、高知県、徳島県	〒577-0012 TEL (06)6744-1041 東大阪市長田東 3-3-11
■広島支店 管轄エリア:広島県、岡山県、鳥取県 島根県、山口県	〒733-0035 TEL (082)233-3201 広島市西区南観音 2-7-10
■福岡支店 管轄エリア:福岡県、大分県、佐賀県 長崎県、熊本県、宮崎県 鹿児島県、沖縄県	〒812-0893 TEL (092)411-1261 福岡市博多区那珂 5-3-15
■本社	〒105-8580 TEL (03)3769-6880 東京都港区芝 2-31-19

製造元 株式会社ツールプラネット

〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町 43-2 TEL(058)246-173

- 本社 東京都港区芝 2-3 1-19
〒105-8580 TEL (03) 3769-6880
- 札幌支店 札幌市西区 2 4 軒 1 条 7-3-1 0
〒063-0801 TEL (011) 621-4171
- 旭川営業所 旭川市東七条 5-2-3
〒070-0027 TEL (0166) 29-6050
- 仙台支店 仙台市宮城野区福室 2-8-2 1
〒983-0005 TEL (022) 258-0221
- 青森営業所 青森市緑 1-1 9-8
〒030-0845 TEL (017) 734-3501
- 盛岡営業所 盛岡市流通センター北 1-3-9
〒020-0846 TEL (019) 638-5321
- 山形営業所 山形市流通センター 3-1 1-1
〒990-0071 TEL (023) 633-3100
- 郡山営業所 郡山市安積町長久保 3-2-1 1
〒963-0105 TEL (024) 946-6370
- 秋田営業所 秋田市川尻町大川反 1 7 0-2 0
〒010-0941 TEL (018) 862-4371
- 関東支店 北本市朝日 4-5 5 3
〒364-0011 TEL (048) 590-3700
- 新潟営業所 新潟市中央区上所上 3-1-2 2
〒950-0992 TEL (025) 285-6231
- 長野営業所 長野市大字西尾張部 1 1 1 8-8
〒381-0031 TEL (026) 263-1433
- 前橋営業所 前橋市元総社町 2-6-7
〒371-0846 TEL (027) 251-2168
- 宇都宮営業所 宇都宮市築瀬 3-2 9-1 2
〒321-0934 TEL (028) 638-8811
- 水戸営業所 水戸市笠原町 1 3 7 4-4
〒310-0852 TEL (029) 241-1478
- 埼玉営業所 北本市朝日 4-5 5 3
〒364-0011 TEL (048) 590-3600
- 千葉営業所 千葉市美浜区新港 2 1 2
〒261-0002 TEL (043) 241-5828
- 東京支店 東京都港区芝浦 4-1 6-2 3
〒108-0023 TEL (03) 3769-6840
- 多摩営業所 国立市北 3-2 9-8
〒186-0001 TEL (042) 525-9101
- 横浜営業所 横浜市中区相生町 6-1 1 1
〒231-0012 TEL (045) 633-3701
- 静岡営業所 静岡市駿河区弥生町 2-4 0
〒422-8009 TEL (054) 261-3351
- 名古屋支店 名古屋市中区千種区青柳町 6-2 6
〒464-0852 TEL (052) 732-2600
- 北陸営業所 金沢市松島 2-1 3
〒920-0364 TEL (076) 240-6661
- 三重営業所 津市栄町 1-8 5 2
〒514-0004 TEL (059) 225-7811
- 大阪支店 東大阪市長田東 3-3-1 1
〒577-0012 TEL (06) 6744-1041
- 神戸営業所 神戸市兵庫区西出町 1-2-1 1
〒652-0822 TEL (078) 652-2155
- 京都営業所 京都市伏見区中島宮ノ前町 4-2
〒612-8457 TEL (075) 621-8213
- 高松営業所 高松市六条町 1 1 3 3-1
〒761-0303 TEL (087) 866-5777
- 広島支店 広島市西区南観音 2-7-1 0
〒733-0035 TEL (082) 233-3201
- 福岡支店 福岡市博多区那珂 5-3-1 5
〒812-0893 TEL (092) 411-1261

お問い合わせは



販売店の方へのお願い

この取扱説明書は、必ずお客様にお渡ししてください。

(2016. 7. 28 更新)